



広報のほりべつ別冊



平成 14 年度市の仕事

まちづくりカタログ



まちづくりカタログをお届けします

市は、昨年から市民のみなさんが市政のあらゆる分野に参画する上でもっとも基本となる市政情報のひとつとして、『まちづくりカタログ』を発行しています。

このまちづくりカタログは、平成14年度の予算の内容と事業のあらましを『登別市総合計画』の柱立てに沿って紹介するものです。

まちづくりは、自分の住むまちを、市民のみなさんが「こうしていきたい」と自ら考え、判断・決定し、責任をもって行うことです。

今年度、市がどのような事業に取り組むのか、あるいは、市が提供している行政サービスについてどのくらいの財源が付与されているのかなど、市民のみなさんが市の施策を検討する上で、また、登別のまちづくりを考えていく上で参考にさせていただければ幸いです。

**第1章****やさしさと共生するまち**

～福祉・高齢者・保健・障害をもつ方
・子育て支援・男女共同参画～

共に支え合う福祉の基盤づくり	4
高齢者や障害をもつ方のために	6
高齢社会を支えるために(介護保険全般)	9
介護保険サービス	11
健康で暮らすために	12
母と子の健康のために	17
子どもたちの健康のために	17
地域医療体制の整備	18
障害をもつ方のために(助成金・給付関係)	18
障害をもつ方のために(補助金)	20
障害をもつ方のために(施設関連)	21
自立した暮らしへの支援	21
地域で担う子育て支援	21
男女共同参画社会づくり	24

第2章**自然とともに暮らすまち**

～環境保全・自然とのふれあい・ごみとリサイクル・下水道・火葬場・霊園・防災・消防・救急・防犯・交通安全・消費生活～

資源循環型社会の構築に向けて	26
人と自然のふれあい拠点の形成	26
生活環境の保全	28
美しい自然を守り、 住みよい環境をつくるために	30
下水道事業の推進	31
火葬場・霊園の整備	32
災害に強いまちづくり	33
消防・救急体制の整備	34
犯罪のないまちを目指して	35
交通安全対策	35
安全な消費生活	37

第3章**大地に根ざしたたくましい
産業が躍動するまち**

～産業振興・観光・農業・林業・水産業
・商業～

産業を担う人づくり	38
企業誘致の促進	39
世界が集い、 世界が楽しむ北の観光拠点をつくる	39
海と大地の恵みを力に変える	40
まちの経済活性化のために	41

第4章**調和の中でふるさとを
演出するまち**

～交通・情報・都市景観・市街地整備
・公営住宅・上水道・公園～

機能的な交通・情報ネットワークで 活力とふれあいを運ぶ	43
情報・通信体制の整備	46
情報化の推進	48
美しい都市景観の創造	49
住みよい市街地の整備と 宅地・住宅の確保	50
水道事業などの推進	51
公園の整備	52

第5章**豊かな個性と
人間性をはぐくむまち**

～生涯学習・幼児教育・小中学校教育・特殊教育・高等教育・学習機会・文化活動・スポーツ・図書館～

生涯学習社会の実現を目指して	53
幼児教育の充実	54
小・中学校教育の充実	55
学習環境の整備充実	58
学校給食事業	58
高校教育の充実	58
生涯学習の推進	59
生涯学習諸条件の整備	60
個性豊かなふるさとの文化をつくる	61
生涯スポーツと競技スポーツの振興	65
スポーツ施設の整備充実	66
生涯学習を支える図書館機能を高める	67

第6章**担いあうまちづくり**

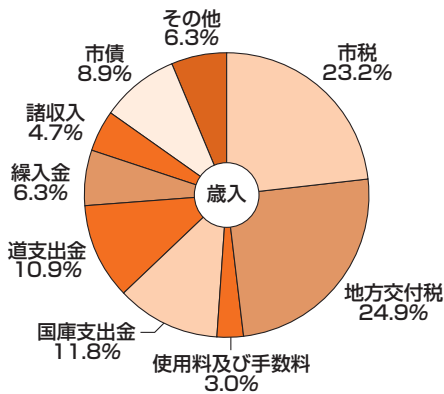
～市民参画・地域活動・地域交流・国際交流～

多彩な地域活動を支援	68
交流ネットワークの形成	69

まちの予算

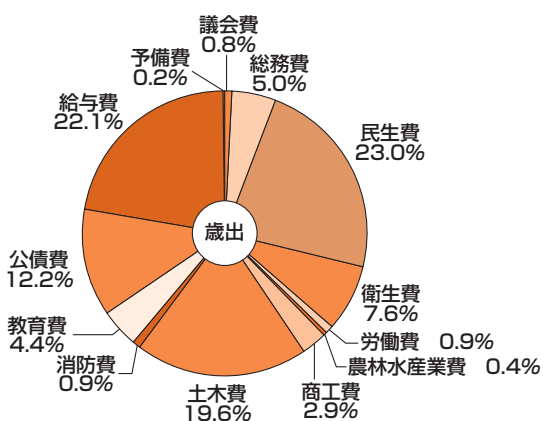
一般会計歳入 (単位: 万円)

費目	平成14年度	
	当初予算額	構成比
市 税	517,437	23.2%
地方交付税	556,500	24.9%
使用料及び手数料	67,773	3.0%
国庫支出金	263,547	11.8%
道 支 出 金	244,445	10.9%
繰 入 金	141,440	6.3%
諸 収 入	104,494	4.7%
市 債	199,420	8.9%
そ の 他	139,944	6.3%
合 計	2,235,000	100.0%



一般会計歳出 (単位: 万円)

費目	平成14年度	
	当初予算額	構成比
議 会 費	17,667	0.8%
総 務 費	112,027	5.0%
民 生 費	513,590	23.0%
衛 生 費	168,904	7.6%
労 働 費	21,167	0.9%
農林水産業費	9,620	0.4%
商 工 費	64,422	2.9%
土 木 費	437,157	19.6%
消 防 費	19,111	0.9%
教 育 費	98,513	4.4%
公 債 費	273,634	12.2%
給 与 費	494,188	22.1%
予 備 費	5,000	0.2%
合 計	2,235,000	100.0%



一般会計歳入

- ◎市税…市民税や固定資産税、都市計画税、軽自動車税、市たばこ税、特別土地保有税、入湯税があり、市の収入の4分の1を占めています。
- ◎地方交付税…市が行わなければならない行政サービスを実施するため、財政状況に応じて国から配分されるお金。
- ◎使用料及び手数料…ごみ処理手数料や建築確認手数料、戸籍手数料など、利用した方が納める受益者負担金。
- ◎国庫(道)支出金…交付金や補助金、委託金があり、市が事業や事務を行うために国や道から交付されるお金。
- ◎繰入金…基金(家庭でいうと貯金)を取り崩して使用するお金。
- ◎諸収入…貯金の利子や貸付金の回収元金、利子、福祉施設に入所している方に負担金として納めていただくお金など。
- ◎市債…施設や道路などを整備する際、通常の財源だけでまかなうのが困難なため、借り入れするお金。
- ◎その他…自動車重量税や消費税などの税金の一部が国から交付されるお金など。

一般会計歳出

- ◎議会費…市議会に関することに使うお金
- ◎総務費…国際交流や各地域との交流、広報広聴活動などに使うお金
- ◎民生費…福祉に関することに使うお金
- ◎衛生費…健康や予防に関することに使うお金
- ◎労働費…労働に関することに使うお金
- ◎農林水産業費…農業や水産業に関することに使うお金
- ◎商工費…商工業に関することに使うお金
- ◎土木費…都市基盤整備に関することに使うお金
- ◎消防費…火災や救急業務に関することに使うお金
- ◎教育費…教育に関することに使うお金
- ◎公債費…長期借入金の返済に使うお金
- ◎給与費…職員の給与に使うお金
- ◎予備費…予備のお金



平成14年度各会計予算総括表 (単位：万円)

会計区分	平成14年度	
	当初予算額	構成比
特別会計	1,775,800	91.1%
国民健康保険	491,480	25.2%
学校給食事業	37,720	1.9%
公共下水道事業	352,980	18.1%
老人保健	653,860	33.6%
簡易水道事業	3,260	0.2%
介護保険	236,500	12.1%
保険事業 助成	236,450	12.1%
介護サービス 事業助成	50	0.0%
水道事業会計	173,879	8.9%
収益的支出	94,747	4.9%
資本的支出	79,132	4.0%
総合計	1,949,679	100.0%

特別会計・事業会計



● **国民健康保険特別会計**
国民健康保険加入者の医療費の一部助成や国民年金、各種検診の助成、健康づくりなどの事業を行います。

● **学校給食事業特別会計**

市内の小・中学校や保育所に給食を調理・配送し、子どもたちの栄養を満たすことができるおいしい給食を提供します。

● **公共下水道事業特別会計**

都市基盤整備の一環である公共下水道を整備します。本年度は、鷲別町と大和町方面の下水道を整備します。この整備で、登別市の下水道普及率は75%、整備面積は849㎡になります。

また、12年度から4年間にわたって終末処理場の処理能力を1万立方メートルから1万2,500立方メートルへ増設を進めるとともに、本年度は登別地区の整備に向けた幌別ポンプ場と登別ポンプ場の建設用地の確保を図ります。

● **老人保健特別会計**

高齢者の医療費軽減を図るため、医療費の一部助成などを行います。

● **簡易水道特別会計**

札内地区などの飲料・営農用水施設の整備を行います。

● **介護保険特別会計**

介護が必要な高齢者などを対象に、在宅や施設での介護サービスを行います。

● **水道事業会計**

安全で良質な水の供給や新配水池の建設、配水管の整備などを行います。



予算のポイント

登別市の平成14年度の当初予算総額は、全会計で418億4千679万円となりました。内訳としては、一般会計が223億5千万円、6特別会計の合計が17億5千800万円、事業会計が17億3千879万円となっています。

本年度予算は、厳しい財政環境の中、市税や地方交付税などについて、的確な見積りを行うとともに、事務事業の見直しを実施し、一般事務費や旅費、職員の超過勤務手当などの削減を行い、投資的経費については、優先度や効果などを総合的に勘案して選択するなど、経費全般について徹底した節減合理化に努めました。

一般会計の主な歳入では、市税が当初予算としては5年連続で減少し、51億7千437万円、地方交付税については55億6千500万円、市債は、火葬場建替事業充当債や(仮称)新富浦墓地造成事業充当債、市営住宅(桜木団地)建替事業充当債など19億9千420万円を見込んでいるほか、財源不足を補うため、財政調整基金積立金と減債基金積立金から4億円を取り崩すなどして、厳しい財政状況に対応します。

一般会計の主な歳出では、必ず支出しなければならぬ義務的経費について、人件費は1億6千万円減少したものの、扶助費と公債費が各々3億円以上増加したため、106億5千405万円となり、都市基盤整備など公共事業のために支出する『投資的経費』は、17億円の受託事業があるため、13億6千567万円増え、40億1千967万円となりました。

第1章

やさしさと共生するまち

福祉・高齢者・保健・
障害をもつ方・子育て
支援・男女共同参画



- 共に支え合う福祉の基盤づくり
- 高齢者や障害をもつ方のために
- 高齢社会を支えるために（介護保険全般）
- 介護保険サービス
- 健康で暮らすために
- 母と子の健康のために
- 子どもたちの健康のために
- 地域医療体制の整備
- 障害をもつ方のために（助成金・給付関係）
- 障害をもつ方のために（補助金）
- 障害をもつ方のために（施設関連）
- 自立した暮らしへの支援
- 地域で担う子育て支援
- 男女共同参画社会づくり



共に支え合う福祉の基盤づくり

総合福祉センターの運営管理に要する経費 2千764万円

片倉町6丁目9-1 (☎0100)。
平成13年度の利用実績は、3万8千824人。



鉄南ふれあいセンターの運営管理に要する経費 913万円

幌別町3丁目7-1 (☎02966)。
平成13年度の利用実績は、1千726件・2万3千803人。



若草つどいセンター・富浦会館などの運営管理に要する経費 290万円

・若草つどいセンター：若草町4丁目21-1 (☎01205)。平成13年度の利用実績は、2千970件・3万8千543人。
・富浦会館：富浦町1丁目46-4 (☎02481)。平成13年度の利用実績は、94件・1千977人。
・富士会館：富士町7丁目2-1 (☎0722)。平成13年の利用実績は、506件・1万5千179人。

福祉のしおりの作成 15万8千円

身体障害者福祉制度や介護保険制度など、福祉関係の諸制度を広く紹介した福祉のしおりを作成します。

老人医療費の給付 65億3千158万9千円(うち国13億7千132万円、道3億4千283万円)

70歳以上の方や、65歳以上で重度の障害をもつ高齢者の、本人負担1割分を除いた医療費などを給付します。

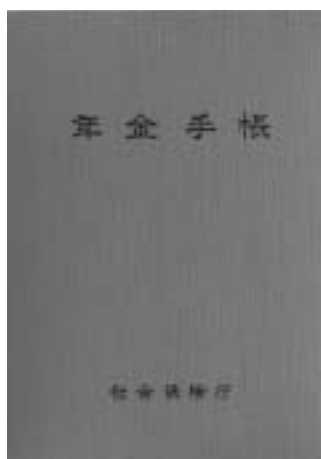
老人医療費の助成 9千766万8千円（うち道4千355万7千円）

高齢者の医療費軽減を図るため、道と市では医療費の一部を助成しています。

- ・道の助成対象：65歳以上70歳未満で一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯、高齢者と児童だけの世帯の方。
- ・市の助成対象：69歳以上70歳未満の方。

国民年金経費 3千672万4千円（うち国73万4千円）

国民年金は、日本国内に住所のある20歳以上60歳未満のすべての方が加入し、老後や思わぬけが、病気で障害をもったとき、年金を受給して生活の安定を図ろうとする相互扶助制度です。



「社会福祉協議会の活動を支援」

地域福祉活動促進事業補助金 901万円

登別市社会福祉協議会が実施する『ふれあいのまちづくり事業』『ふれあい広場』などの事業費の一部や、『登別市ボランティアセンター』の運営費の一部を助成します。

・ふれあいのまちづくり事業：市民が介護やボランティア活動、法律、年金、保健などの生活・福祉問題について気軽に相談できる総合相談体制づくりに取り組む『ふくしなんでも相談』の実施や、一人暮らしの高齢者などを地域で支える『福祉ネットワーク』を強化するほか、ファミリースポーツセンターや日帰り介護サービス（高齢者）、介護講習会、ボランティア



▲放課後児童クラブでのボランティア体験（ボランティア体験月間）

ランディア体験月間などを実施し、福祉の総合的な推進を図ります。

・ふれあい広場：しんた21などを会場にボランティア団体による手話や点字体験、車いすなどの試乗などが行われ、ボランティア活動の紹介やノ



▲ふれあい広場での点字体験

ーマライゼーション理念の普及が図られています。

・登別市ボランティアセンター：片倉町6丁目9-1しんた21内（☎0802080）。ボランティアをしたい人や受けたい人の登録・調整・紹介などを行うほか、ボランティア活動に関する講演会を開催し、ボランティアを推進する機関です。

現在、ボランティアセンターには、個人ボランティア295人、ボランティアグループ33団体・1千491人が登録し（平成14年5月1日現在）、幅広いボランティア活動を行っています。



▼問い合わせ

社会福祉課 (☎851911)

登別市社会福祉協議会

(☎880860)

【民生委員児童委員の活動を支援】

民生委員児童委員活動経費 779万2千円 (うち道77万8千円)

民生委員児童委員129人。

民生委員児童委員協議会経費 124万1千円 (うち道124万円)

民生委員推せん会経費 31万3千円 (うち道1万6千円)

民生委員児童委員協議会補助金 282万6千円

高齢者や障害をもつ方のために

【高齢社会の基盤づくり】

老人福祉センターの運営管理 424万5千円

富士町7丁目11-1 (☎881303)。平成13年度の利用実績は、1万3千417件・2万2千7人。



老人福祉センター祭 37万1千円

老人福祉センターを拠点に活動する各種サークルと老人クラブ連合会による芸能発表や創作作品展示などの活動を紹介し、高齢者の交流を促進します。平成14年度は、9月21日(土)の開催を予定しています。

老人趣味の作業所の運営 42万1千円 (うち道30万8千円)

幌別町7丁目4-4 (☎858208)。平成13年度の利用実績は、1千447人。



老人憩の家の維持 344万8千円

老人憩の家の営繕 200万円

老人憩の家の整備 650万円

静和園整備事業費350万円、優和園整備事業費300万円。

「生きがいづくり」(補助金関連)

生きがい対策事業補助金 20万円

登別市老人クラブ連合会が行うゲートボール大会やグラウンドゴルフ大会などの事業へ補助金を交付します。

長寿祝金などの贈呈 670万円

高齢者の長寿を祝い『長寿祝金』や『長寿祝品』を贈呈します。

平成14年度の長寿祝金は、77歳の方・490人、88歳の方・166人、99歳の方・8人、長寿祝品は100歳以上の方・5人に贈呈を予定しています。

三市の高齢者の交流 27万5千円

登別市・室蘭市・伊達市の老人クラブ連合会がゲートボールやパークゴルフ大会、演芸大会などを通して相互の交流を図ります。



敬老会補助金 831万3千円

70歳以上の方を対象に敬老行事を行う町内会に対し、その経費の一部を補助します。平成14年度の対象予定者は、8千313人。

登別市老人クラブ連合会補助金 100万円

老人クラブ補助金 534万5千円
(うち道161万7千円)

市内老人クラブ47団体。

登別市シルバー人材センター補助金 1千100万円

独居老人等緊急通報システム機器の設置 70万6千円(道43万8千円)

これまで、市内の一人暮らしの高齢者宅などに275台が設置され、平成14年度は、10台の設置を予定しています。



老人日常生活用具の給付 118万7千円（うち道87万7千円）

在宅高齢者が日常生活を容易に営むことができるよう日常生活用具（電磁調理器など）購入費の一部を補助します。

また、要介護認定4以上の高齢者とその高齢者を介護する家族のいずれもが住民税非課税の場合に、介護用品（紙おむつなど）購入費の一部を補助します。

布団乾燥・電話・移送サービス 158万円（うち道118万円）

・布団乾燥サービス：寝たきり状態の65歳以上の高齢者などの布団乾燥を行います。

・電話サービス：65歳以上の高齢者だけの世帯や一人暮らしの高齢者で、病弱などの理由から近隣とのコミュニケーションが少ない方に電話をかけ、安否の確認や孤独感の解消を図ります。

・移送サービス：老人福祉センターを利用する65歳以上の高齢者を所定のバス停から送迎します。

▼問い合わせ 社会福祉課

☎ 1911

老人ホームヘルプサービス 162万円（うち道117万7千円）

介護認定審査で『自立』と認定された方で、日常生活を営むのに支障がある高齢者に対し、要介護状態への進行予防や自立促進のため、ホームヘルパーを派遣し、日常生活のお手伝いをします。

老人デイサービス 306万円（うち道190万4千円）

介護認定審査で『自立』と認定された方で、日常生活を営むのに支障がある高齢者の自立促進や身体機能の維持向上を目的に、登別市社会福祉協議会とデイサービスセンター緑風園で入浴や食事などのサービスを行います。

老人ショートステイ 8万3千円（うち道6万1千円）

介護認定審査で『自立』と認定された方で、日常生活を営むのに支障がある高齢者を介護している家族が、病気などのため一時的に在宅での介護ができなくなつたとき、特別養護老人ホーム緑風園でお世話します。

配食サービス 865万4千円（うち道373万3千円）

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、心身に障害をもち調理が困難な方に、週2回栄養バランスの取れた食事の提供を行います。

地域総合整備資金貸付金（彩咲会）
5千500万円

彩咲会による老人福祉施設建設事業に伴い、地域総合整備資金貸付金（ふるさと融資）を活用し、民間事業活動を支援することで、活力ある地域づくりの推進を図ります。

養護老人ホーム恵寿園の運営 1億7千692万8千円（うち国1千17万5千円、人件費1億2千213万4千円）

川上町277-1（☎05043）。平成14年3月末日現在で63人が入園。

恵寿園の整備 128万円

屋根の一部の改良工事を行います。



高齢社会を支えるために
（介護保険全般）

介護サービスマップの作成 63万円（うち国31万5千円、道15万7千円）

地域における介護サービスの情報マップを作成し、介護サービスの周知と介護サービス利用の促進を図ります。

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画見直し経費 76万2千円

介護サービス計画の作成 50万円

介護を必要とする方が介護認定後、どのような介護サービスを受けるか希望を聞きながら、ケアマネジャー（介護支援専門員）が介護サービス計画を作成します。

介護認定審査会の運営 97万4千円（うち国55万8千円）

保健・福祉・医療の各分野の専門家が30人で構成され、介護認定申請者にご

の程度の介護が必要となるか審査します。



▲介護認定審査会の様子

介護認定調査 1千606万1千円
(うち国926万5千円)

介護認定申請者の介護認定を行うため、介護認定調査員が介護を必要とする方の身体の状態などの聞き取り調査を行います。



介護保険趣旨の普及 206万1千円

介護保険制度の説明会の開催やパンフレットの配布など、制度の仕組みや内容の周知を図ります。平成14年度は、『広報のぼりべつ』などに介護保険についての記事を掲載するほか、パンフレットを折り込む予定です。

介護保険運営協議会の運営 40万3千円

介護保険事業は、市町村介護保険事業計画を作成することが国から義務づけられています。この事業計画の進捗や管理、予算、給付状況などについて協議するため、委員10人で構成する介護保険運営協議会を組織し、平成14年度は、介護保険事業計画の見直しの協議や苦情処理の審査などを行います。

介護給付費請求書審査支払手数料 331万2千円 (うち国82万8千円・道41万4千円)

要介護・要支援被保険者(要介護または要支援の認定を受けた方)が受けたサービスなどが正しく利用されているか内容を国民健康保険連合会に審査

してもらったための手数料です。

ホームヘルプサービス低所得者利用者負担の軽減 444万3千円 (うち国222万1千円、道111万円)

生計中心者が所得税非課税である世帯の障害をもつ方や高齢者が、介護保険制度導入後もホームヘルプサービスを受けることができるよう負担の軽減を図ります。

家族介護慰労金の支給 50万円 (うち国25万円、道12万5千円)

介護保険のサービスを受けずに介護度4・5の在宅高齢者の介護を行っている家族に対して慰労金を支給します。

在宅介護支援センターの運営 2千252万2千円 (うち道1千676万7千円)

これまで、総合福祉センター『しんた21』内に『在宅介護支援センター』を設置し、在宅の要介護者とその介護者からの在宅介護などに関する総合的な相談や関係機関への連絡など、保健・医療・福祉サービスの調整を行

つてきました。平成12年度から、介護保険制度導入や在宅福祉に関する相談件数の急増に対応するため、新たに『在宅介護支援センターゆのか』と『在宅介護支援センターふれあい登別』を開設し、相談業務などを行っています。

・在宅介護支援センターしんた：片倉町6丁目9-1（☎⁸⁸2221）

・在宅介護支援センターゆのか：登別温泉町133（登別厚生年金病院内☎⁸⁴2165代表）

・在宅介護支援センターふれあい登別：登別東町3丁目1-2（☎⁸³0511）

▼問い合わせ 保健福祉課
（しんた21内☎⁸⁵0100）

介護保険サービス

居宅介護・支援サービス給付費
4億6千729万2千円（うち国1億1千684万2千円、道5千844万円）

要介護・要支援被保険者が在宅で訪問介護や通所介護などのサービスを受けた介護費用の9割を給付します。



特例居宅介護・支援サービス給付費 70万円（うち国17万5千円、道8万8千円）

要介護・要支援認定の申請前に、やむを得ない理由などでサービスを受けた介護費用の9割を給付します。

施設介護サービス給付費 15億9千780万円（うち国3億9千945万円、道1億9千972万5千円）

要介護被保険者が、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や介護老人保健施設、介護療養型医療施設に入所し、介護サービスを受けた介護費用の9割を給付します。

特例施設介護サービス給付費 100万円（うち国25万円、道12万5千円）

要介護被保険者が、要介護認定の申請前に、やむを得ない理由などで介護老人福祉施設などに入所し、サービスを受けた介護費用の9割を給付します。



居宅介護・支援福祉用具の購入
458万円（うち国114万5千円、道57万3千円）

要介護・要支援被保険者が購入した腰掛け便座や入浴補助用具など、一部の福祉用具の購入費の9割（10万円を限度とする）を支給します。

居宅介護・支援住宅の改修 1千317万6千円（うち国329万4千円、道164万7千円）

要介護・要支援被保険者の自宅の手すり取り付けや段差解消など、小規模な住宅改修にかかる費用の9割（20万円を限度とする）を支給します。

居宅介護・支援サービス計画給付費 6千195万6千円（うち国1千548万9千円、道774万5千円）

要介護・要支援被保険者が、指定居宅介護支援事業者のケアマネジャーに居宅介護サービス計画を作成してもらう費用の全額を給付します。

特例居宅介護・支援サービス計画給付費 120万円（うち国30万円、道15万円）

要介護・要支援被保険者が、指定居宅介護支援事業者以外の支援事業者に依頼して居宅介護サービス計画を作成してもらう費用の全額を給付します。

高額介護・支援サービス費 2千235万2千円（うち国558万8千円、道279万4千円）

要介護・要支援被保険者の利用者負担額の軽減を図るため、一定額を超えた分を所得に応じて支給します。

健康で暮らすために

【国民健康保険事業の推進】

療養給付 24億9千774万2千円（うち国7億4千747万7千円、道2千万円）

国保加入者の入院や通院などにかかった医療費のうち、本人負担分を除いた医療費を各医療機関へ支払います。

療養費の支給 2千195万4千円（うち国715万6千円）

国保加入者が、被保険者証を提出せず診療を受けた場合などの医療費（本人が一時全額負担）のうち、本人負担分を除いた医療費を被保険者に支払います。

診療報酬明細書の審査 605万4千円

国民健康保険で診療を受けた医療費について医療機関から請求を受けたレ

セプト（診療報酬明細書）の内容に誤りがないかなどを審査します。

高額療養費の支給 3億5千28万1千円（うち国1億4千262万9千円）

国保加入者の医療費が高額になり、一部負担金の限度額（所得により異なる）を超える場合に支給します。

医療費通知 492万円4千円（うち国200万円）

国保加入者が診療を受けた受診年月日や医療機関名、医療費の総額などについて、年6回お知らせします。

脳ドック助成金 125万円

脳梗塞のうこうそくやくも膜下出血などの早期発見・早期治療の促進を図るため、脳ドック検査の一部を助成します。

▼問い合わせ 保険年金課

☎ 17771

健康管理システム導入経費 1千460万円（うち国284万円）

市民の健康診断などのデータを蓄積

し、保健指導に活用したり、市民の健康意識の高揚を図ります。

葬祭費の支給 930万円

国保加入者が亡くなったときに支給します。

介護納付金 1億6千453万5千円（うち国8千167万8千円）

介護保険制度を社会全体で支えるため、介護サービスの給付費を国や道、市などが負担します。

老人保健医療費の拠出金 15億3千202万1千円（うち国8億834万8千円）

老人医療費の自己負担分を除いた医療費の一部を、国や道、市などが負担します。

高額医療費共同事業医療費の拠出金 4千426万4千円

高額医療費の支払いに備えて、国民健康保険団体連合会へ各市町村などが負担します。

▼問い合わせ 保険年金課

☎ 17771

健康手帳の作成 20万円6千円（うち国8万6千円、道8万6千円）

40歳以上の働き盛りの方や高齢者の健康管理の促進と健康意識の向上を目的に、健康手帳を作成し交付します。

健康教育 73万7千円（うち国24万6千円、道24万6千円）

健康の増進や生活習慣病などの知識の向上を図るため、40歳以上の方を対象にした医師や保健師、栄養士による健康に関する講演会などを開催します。

機能訓練 157万2千円（うち国49万6千円、道49万6千円）

高齢者の自立促進を目的に、心身機能の維持・回復を図るため、歩行や起き上がりなどの基本動作訓練や、食事や入浴などをスムーズに行うための日常動作訓練、レクリエーションなどを行います。



訪問指導 112万3千円（うち国35万5千円、道35万5千円）

高齢者や、健康診査で要注意と診断された方に保健師などが訪問し、保健指導や栄養指導を行います。

健康診査 5千277万9千円（うち国580万9千円、道580万9千円）

病気の早期発見・早期治療の促進を目的に、基本健康診査や各種がん検診、歯科検診を行うほか、平成14年度は、前立腺がん検診も行います。

検診名	対象	内容	負担額	実施予定回数（集団）
基本健康診査・肺がん検診	40歳以上の方	問診、身体計測、理学的検査、血圧、検尿、心電図、血液検査、胸部レントゲン、かくたん検査（希望者のみ）	個別：2,100円 集団：2,100円 喀たん検査：600円	10回
胃がん検診	40歳以上の方	問診、バリウム検査	個別：2,900円 集団：900円	11回
大腸がん検診	40歳以上の方	問診、免疫便潜血検査	個別：1,100円 集団：500円	2回
歯周疾患検診	40歳以上の方	問診、口腔内診査	無料	8回
子宮がん検診	30歳以上の女性の方	問診、細胞診	頸部 { 個別：1,700円 集団：600円 } 体部 { 個別：800円 集団：700円 }	4回
乳がん検診	30歳以上の女性の方	問診、視診、触診	個別：700円 集団：300円	4回
前立腺がん検診	50歳以上の男性の方	問診、血液検査	個別：1,100円	基本健康診査を受ける際の希望者のみ

※個別検診とは、室蘭、登別市内の各医療機関で個別に受診する検診（通年実施）。
 ※集団検診とは、しんた21、鷺別公民館、婦人センターなどの会場で日程を定めて予約で行う検診。
 ※70歳以上の方や国民健康保険加入者、住民税非課税世帯の方などは無料です。

予防接種 4千454万6千円

感染症による病気の発生を未然に防止するため、各種予防接種を行います。

予防接種の種類	対象	内容
個別予防接種：各自が病院などで行う予防接種		
風しん	1歳から7歳6カ月と中学3年生	1回接種（麻しん接種後） ※中学3年生については、以前に風しんの予防接種を受けたことがある場合は接種を行わない。
麻しん（はしか）	1歳から7歳6カ月まで	1回接種
3種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）	3カ月から7歳6カ月まで	1期初回～それぞれ3～8週間の間隔で3回接種 1期追加～1期初回接種3回終了後12カ月から18カ月の間隔で1回接種
2種混合（ジフテリア・破傷風）	3カ月から7歳6カ月と小学6年生	3種混合の接種をする前に百日せきにかかった乳幼児は各医療機関で接種小学6年生は2期として1回行う。
インフルエンザ（高齢者対象）	65歳以上（60歳以上65歳未満で内部障害手帳1級の一部の方）	実施期間：11月1日～12月末日（医療機関が実施する期間）一部自己負担がかかります。
集団予防接種：公共施設や各小中学校などで行う予防接種		
BCG	3カ月から4歳未満（ツベルクリン反応検査が陰性の方）	※左記以外にも小学1年生、中学1年生でツベルクリン反応検査を行い、陰性の場合は接種します。
ポリオ（小児まひ）	3カ月以上7歳6カ月まで	2回投与で、1回投与後6週間過ぎて2回目を投与する。

結核検診 19万7千円

結核の早期発見・早期治療と、感染の予防を図ります。

- ▼対象 19歳から39歳までの方
- ▼実施回数 2回
- ▼内容 胸部レントゲン検査

エキノコックス症対策 41万4千円

エキノコックス症感染予防の周知や血清検査などを実施します。

- ▼血清検査対象 小学3年生以上の方
- ▼実施回数 1回
- ▼問い合わせ 保健福祉課
(しんた21内 ☎ 0100)

インフルエンザ予防接種の助成 420万円

65歳以上の国保加入者を対象に、インフルエンザ予防接種の自己負担分を助成します（一人につき1千50円、1回限り）。

- ▼問い合わせ 保険年金課
(☎ 1771)

健康相談 17万3千円（うち国5万7千円、道5万7千円）

生活習慣病や介護などについての相談や指導を行い、健康の保持・増進を図ります。

健康まつり 75万1千円

健康づくりの意識向上を図るため、健康相談や健康ウォークなどを行います。

- ▼開催場所 総合福祉センター『しんた21』（片倉町6丁目9-1）



▲健康ウォーク



健康増進 381万円

健康の維持・増進を図るため、しんた21を会場にエアロビクス教室（毎週火曜日）とジャズダンス教室（毎週金曜日）を開催します。

▼問い合わせ 保健福祉課
（しんた21内 ☎ 850100）

健康講演会の開催 25万円

ときめき大学や婦人短期大学などを対象に、健康づくりについて講演会を開催します。

▼問い合わせ 社会教育課
（☎ 881129）

健康づくりパンフレット配布 万1千円 270

エイズ予防や健康増進のパンフレットなどを国保加入者へ送付するほか、国保窓口で配布します。

各種がん検診料助成金 451万8千円

しんた21で行われる胃がん検診などを受診した国保加入者の費用を全額助

成します。

短期人間ドック助成金 621万8千円

国保加入者が受診した短期人間ドックの費用を一部助成します。

▼対象者 現在、入院や通院をしていない満20歳以上の国保に加入している方

▼自己負担額 3千円（70歳以上は2千500円）

▼問い合わせ 保険年金課
（☎ 851771）

トレーニング機器の購入 千円 357万6

しんた21内のトレーニング機器が老朽化したため、エアロバイク6台、エアロクライム2台を更新します。

▼問い合わせ 保健福祉課
（しんた21内 ☎ 850100）



▶トレーニングルーム（しんた21）のトレーニング機器

母と子の健康のために

母と子の健康のために 967万9千円
 (うち国39万8千円、道39万8千円)

名称	内容	対象	実施	費用
幼児歯科保健	・フッ素塗布	1歳6カ月児健康診査を受けた幼児が対象	年4回	800円
3～4カ月児健康診査	問診、身体計測、栄養相談、育児相談	3カ月・4カ月の乳児とその保護者	毎月1回	
1歳6カ月児健康診査	問診、身体計測、内科健診、歯科検診、栄養相談、育児相談、フッ素塗布の予約	1歳6カ月児とその保護者	毎月1回	
7～8カ月児相談	問診、身体計測、離乳食の説明、育児相談、栄養相談、遊びの紹介	7～8カ月の乳児とその保護者	毎月1回	
妊婦健康診査	一般健診、超音波検査 HBs抗原検査(B型肝炎)、HBs抗原検査陽性者指導	・一般健診：妊婦の方全員 ・HBs抗原検査：妊婦の方全員 ・超音波検査：35歳以上の妊婦 ・HBs抗原検査陽性者指導：HBs抗原検査で陽性と判定された方	医療機関などが受診	
3歳児健康診査	問診、身体測定、内科健診、歯科検診、育児相談、栄養相談、遊びの紹介、視聴覚検査	3歳児とその保護者	毎月1回	
赤ちゃん訪問など	保健婦が家庭を訪問し妊産婦や乳幼児の保護者に育児などのアドバイスを行う	妊産婦や乳幼児のいる家庭の希望者など	随時	
健やか親子教室	・マタニティ編：もく浴やおむつ交換、妊婦疑似体験	妊婦か夫婦	年3回	
	・赤ちゃん編：親子遊びの紹介や交流会	乳児とその両親	年3回	

▼問い合わせ 保健福祉課

(しんた21内 ☎ 850100)

円 出産育児一時金の支給 1千650万

国保加入者が出産したときに支給します。

▼対象 国保加入者で妊娠4カ月を過ぎて出産した方

▼支給額 30万円

▼問い合わせ 保険年金課

(☎ 1771)

子どもたちの健康のために

円 新入学児童の健康診断 24万6千

小学校へ入学予定の児童を対象に、胸部や皮膚疾患、視力、聴力、耳鼻咽喉科、歯などの健康診断を行います。平成14年度は、新入学児童447人を対象に9会場で健康診断を行う予定です。開催時期は11月を予定しています。

円 児童生徒の健康診断 2千150万7千

小・中学生を対象に、内科健診や歯科検診、尿検査を行うほか、小学1年生と中学1年生を対象に眼科・耳鼻咽喉科・結核・心臓健診を行います。また、小学1年生からを対象に回虫卵・ぎょう虫卵検査を行います。

▼問い合わせ 学校教育課

(☎ 1162)



地域医療体制の整備

地域医療の推進 1千546万7千円

休日や夜間の救急医療体制を確保するため、医師会や歯科医師会などと連携しながら保健医療の円滑化を図ります。

- ・地域医療対策等経費：358万6千円
- ・救急医療対策事業負担金：426万円
- ・室蘭・登別保健センター起債償還費負担金：762万1千円

献血推進協議会運営事業補助金 3万円

障害をもつ方のために (助成金・給付関係)

身体障害者施設への入所費 1億1千999万円（うち国5千654万7千円、道360万5千円）

身体障害者施設に入所している方の入所費用を負担します（入所者本人と扶養義務者は、所得に応じた費用を負担）。

身体障害者自動車燃料費助成金 49万2千円

身体に障害をもつ方が補装具として市から車いすを受給されている場合、日常生活に使用する自動車の燃料費のうち、税額相当分を助成します。

身体障害者自動車運転免許取得費助成金 21万円

身体に4級以上の障害をもつ方が、自動車運転免許を取得しようとするとき、その費用の一部を助成します。

身体障害者自動車改造費助成金 20万円

肢体に2級以上の障害をもつ方が、就労などのため、自ら所有し運転する自動車を改造する費用の一部を助成します。

社会福祉施設入所者（児）面会旅費助成金 20万円

道内の福祉施設に入所している方家族に、面会に要する交通費を年2回まで助成します。

重度心身障害者在宅世帯等水道使用料金助成金 645万円2千円

心身に重度の障害をもつ方や寝たきり状態の高齢者を介護する世帯に、水道使用料金のうち基本料金相当額を助成します。

重度身体障害者（児）日常生活用具給付費 337万2千円（うち国10万円、道158万5千円）

在宅で重度の障害をもつ方が、日常生活を容易に営むことができる、日常

生活用具（特殊寝台など）を給付します。

重度障害者（児）福祉タクシー関係経費 436万7千円

身体に2級以上の障害（下肢や視覚など）をもち、バスなどの交通機関の利用が困難な方がタクシーを利用する場合、料金の一部を助成します。

知的障害者施設への入所費 3億1千278万7千円（うち国1億4千132万6千円）

知的障害者施設に入所している方の入所費用を負担しています（入所者本人と扶養義務者は、所得に応じた費用を負担）。

身体障害者（児）補装具給付費 2千202万円（うち国1千100万9千円）

身体障害者手帳を交付されている方が、身体の機能を補うために用いる補装具の交付や修理を行います。

重度心身障害児介護手当給付費 720万円

心身に重度の障害をもつ20歳未満の方を介護している保護者に手当を支給します。

特別障害者手当などの支給 2千760万4千円（うち国2千61万3千円）

・特別障害者手当：在宅の20歳以上の方で、日常生活において常時特別の介護を必要とする方に手当を支給します。

・障害児福祉手当：在宅の20歳未満の方で、日常生活において常時介護を必要とする方に手当を支給します。

重度心身障害者医療費助成経費 2億5千853万1千円（うち道1億257万7千円）

身体障害者手帳（1級・2級、3級【内部障害】）を交付されている方や重度の知的障害と診断された方の医療費の一部を助成します。

▼問い合わせ 保険年金課

☎ 1771

在宅重度心身障害者ショートステイ給付費 21万1千円（うち国10万5千円、道5万2千円）

身体障害者手帳を交付されている18歳以上の方を介護している家族が、病気などのため一時的に在宅での介護ができなくなったとき、北海道リハビリテーションセンターでお世話します。

心身障害者デイサービス経費 2千201万3千円（うち国1千97万3千円、道548万6千円）

身体障害者手帳を交付されている18歳以上の方の自立促進や生活の改善、身体の機能の維持向上を目的に、しんた21で入浴や給食サービスを行うほか、介護している家族などを対象に講座を開催します。

心身障害者ホームヘルプサービス 1千241万2千円（うち国620万5千円、道310万2千円）

心身に障害をもち、日常生活に支障のある方などの家庭にホームヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助などのサービスを行います。



428万円 精神障害者居宅支援サービス

精神障害をもつ方が地域で自立した生活が送れるよう、ホームヘルパーが訪問し家事の援助や生活の仕方の相談に応じるなど生活を支援するホームヘルプ事業や、介護している家族が不在のときなどに短期間、安心して生活できる場所を確保・提供するショートステイ事業などを行います。

障害をもつ方のために (補助金)

登別視力障害者協会補助金 5万円

登別市手をつなぐ育成会補助金 22万5千円

登別身体障害者福祉協会補助金 46万円

心身障害者地域共同作業所運営補助金 552万円(うち道276万円)

登別市肢体不自由児(者)父母の会補助金 27万円

登別市ことばを育てる親の会補助金 5万円

回復者クラブ運営補助金 20万円(うち道10万円)

精神障害者共同住居運営費補助金 214万8千円(うち道107万4千円)

精神障害者通所授産施設運営費補助金 109万5千円



障害をもつ方のために (施設関連)

療育センターのぞみ園の運営管理に要する経費 2千58万円(うち道167万9千円、人件費1千884万4千円)



すずかけ作業所(小規模通所授産施設)の運営に要する経費 563万円(うち道342万3千円、人件費499万2千円)

自立した暮らしへの支援

母子家庭などへの医療費の助成 3千868万6千円(うち道1千791万9千円)

健康保険に加入している母子家庭で、満20歳未満の児童を扶養している方の医療費の一部を助成します。

- ・ 母親〳入院・指定訪問看護
- ・ 児童〳入院・通院・指定訪問看護

▼問い合わせ 保険年金課

(☎ 85 1771)

生活保護扶助費 18億6千549万9千円(うち国13億9千837万3千円、道1億3千558万9千円)

▼問い合わせ 社会福祉課

(☎ 85 2008)

地域で担う子育て支援

放課後児童クラブの運営 477万4千円(うち人件費41万1千円)

『放課後児童クラブ』は、共働きや母子・父子家庭などのため、昼間、保護者のいない児童が放課後や夏・冬・春休み中、安全に安心して過ごせる場所として設置されています。

・ 富岸児童クラブ：富岸町2丁目23-15(富岸青少年会館内 ☎ 87 0034)。平成13年度末の登録児童数は20人。

・ 常盤児童館内児童クラブ：常盤2丁目34-1(常盤児童館内 ☎ 85 1840)。平成13年度末の登録児童数は11人。

▼開館時間 授業のある日：放課後から18時まで、授業のない日：9時から18時まで

▼休館日 日曜日、祝日、年末年始

▼利用料 月額6千円(母子・父子家庭で一定の所得以下の場合3千円)



子育て支援センターの運営 1千170万4千円(うち道38万円、人件費1千123万5千円)

子育てについての相談業務や指導、子育てサークルの支援活動を行うほか、親子で遊ぶ楽しさを体験し、遊びを通して親同士の交流を深める『あそびの広場』などを開催し、子育てを支援します。

平成13年度末までの利用者数は、親子が自由に遊ぶ『センター開放日』が1千774人、身近な遊びや絵本を紹介する『あそびの紹介』が329人、電話などによる育児相談が39件ありました。

こどもシヨートステイ事業 19万円(うち道12万6千円)

病気などにより児童の養育が一時的に困難になった家庭の児童を7日間まで児童養護施設で養育します。(利用者は、所得に応じた費用を負担)

・児童養護施設『わかすぎ学園』：室蘭市母恋南町5丁目5-39

▼問い合わせ 児童家庭課

(☎ 5634)

乳幼児の医療費の助成 7千773万4千円(うち道3千577万9千円)

健康保険に加入している6歳未満の子どもの医療費の一部を助成します。

・0歳から3歳に達する日の属する月の月末までの入通院。

・3歳から6歳に達する日の属する月の月末までの入院。

▼問い合わせ 保険年金課

(☎ 1771)

日胆はまなす里親会補助金 3万円

病院内等保育事業補助金 112万5千円

病院や事業所内で保育を実施している団体へ補助金を交付します。

児童手当の支給 1億4千984万2千円(うち国1億1千325万1千円、道1千829万4千円)

小学校入学前の子どもを養育している方に支給します。

災害遺児手当の支給 24万円

交通事故などの災害で父母またはそのいづれかが死亡もしくは重度の障害の状態となったとき、その児童を養育している保護者に手当を支給します。

児童と高齢者との交流事業 140万2千円(うち道76万円)

保育所入所児童が、ミニ運動会や遠足などを通して、地域の高齢者やぞみ園通所児と交流を深めます。

あそびの広場の開催 45万円（うち道24万円）

『子育て支援センター』を会場に、親子で遊ぶ楽しさを体験し、遊びを通して親同士の交流を深める『あそびの広場』。平成13年度は4回開催し、89人が参加しました。本年度は4回の開催を予定しています。

▼対象 1歳児グループ：1歳6カ月～2歳5カ月、2歳児グループ：2歳6カ月～3歳6カ月（初参加のみ）

▼内容 親と子の遊び、集団遊び、手遊びなど

▼問い合わせ 児童家庭課（☎855634）・子育て支援センター（☎3715）



ファミリーサポートセンターの運営 1千50万円（うち国512万4千円、道250万円）

男性と女性のいずれもが仕事と子育てを両立できる環境づくりを目的に、ファミリーサポートセンターを運営しています。センターでは、子育ての援助を受けた人（依頼会員）と援助をしたい人（提供会員）の双方が会員となり、依頼会員が残業や急用などのとき、提供会員が子どもを保育所などへ送迎したり、提供会員の自宅で預かったりする新しい形の子育て支援です。

報酬は、援助終了後に依頼会員が提供会員へ1時間につき500円（土・日曜日、祝日、病児は600円）を支払います。平成13年度末の依頼会員数は305人、提供会員数は113人、両方会員は76人の計494人。預かった人数は延べ1千253人。

▼問い合わせ 登別市ファミリーサポートセンター
（しんた21内☎0033）

保育所の管理運営に要する経費 4億7千518万円（うち国1千106万3千円、道785万3千円、人件費4億839万5千円）

共働きや母子・父子家庭、病人の介護、災害などのため、保育に欠ける児童を預かり、集団保育します。4月1日現在の入所児童数は439人。





保育所学校給食指導事業 36万4千円

退所前の5歳児を対象に学校給食の指導を行います。

延長保育の実施 154万4千円

共働き世帯の増加などに対応するため、驚別保育所や富士保育所、栄町保育所、幌別東保育所では18時から1時間の延長保育を行います。

保育所広域入所 71万円

保護者の就労状況などに応じて、市内の保育所だけではなく、室蘭市や伊達市、白老町の保育所に児童を入所させることができます。

平成13年度は室蘭市の保育所に15人、白老町に4人の児童が入所しました。

登別保育所建替事業 901万円

登別保育所を建て替えるため、基本設計の策定などを行います。

富士保育所整備事業 1千83万円

富士保育所の管理人室を保育室に改造・整備します。

障害をもつ児童などの保育 45万2千円

心身に障害をもつ児童や発達に心配のある児童の保育を市内の全保育所で行います。

▼問い合わせ 児童家庭課 (☎5634)

児童館・児童センターの運営管理に要する経費 4千873万1千円 (うち人件費3千978万3千円)

児童が、遊具や図書、製作用具などを使い、ゲームや運動をしたり、工作や絵を描いたりして、地域の児童の連帯感をはぐくみます。平成13年度の利用者数は延べ6万4千294人。

児童館合同スポーツ交流会の開催 10万円

児童の地域間交流や連帯感をはぐくむため、児童館や児童センターを利用

している児童たちによるドッジボールなどのスポーツ交流会を開催します。

男女共同参画社会づくり

男女共同参画社会づくりの推進 273万円8千円

女性と男性がお互いの人権を尊重し合い、それぞれの個性と能力を發揮しながら、共に支え合う男女共同参画社会の形成を目指します。

・**男女共同参画社会づくりの推進**：男女共同参画基本計画の策定や男女共同参画講演会（年2回開催予定）、学習会を開催するほか、情報誌の発行、男女共同参画を推進する市民団体の活動を支援します。

・**民間シェルター運営補助金**：夫や恋人などからの暴力から逃れる女性の心身の安全確保や自立のための支援を行っている民間シェルター『ネット・マサカーネいぶり』の運営を支援します。

▼問い合わせ 企画課 (☎1122)



▶男女共同参画講演会

三市女性国内派遣研修負担金 38万円

地域で活動している女性団体のリーダーなどを先進地に派遣し、各地における女性の社会参加や女性団体活動、学習活動について研修を行います。平成13年度までの派遣人数は75人（参加者は参加経費の一部を負担）。

▼問い合わせ 社会教育課

(☎ 1129)

婦人活動振興助成金 81万円

市内の婦人会7団体で構成され、研修会や婦人大会を開催しているほか、地域イベントなどに積極的に参加している『登別市婦人団体連絡協議会』の活動を支援するため、助成金を交付します。

▼問い合わせ 社会教育課

(☎ 1129)



▶登別市婦人団体連絡協議会主催の『かあちゃんオリンピック』

第50回胆振管内婦人大会助成金 40万円

女性の健康づくり 64万2千円

検診機会の少ない年代の女性を対象に健康診査を行い、生活習慣病の予防や健康づくりの意識促進を図ります。

▼問い合わせ 保健福祉課

(しんた21内☎ 0100)

対 象	内 容	料 金
18歳以上39歳以下の方	問診、血圧測定、身体計測、尿検査、血液検査、骨粗しょう症検査	2,000円
30歳以上69歳以下の方	骨粗しょう症検査	500円

第2章

自然とともに暮らすまち

- 環境保全・自然とのふれあい・ごみとリサイクル
- ・霊園・下水道・火葬場
- ・救急・防犯・交通安全
- ・消費生活



- 資源循環型社会の構築に向けて
- 人と自然のふれあい拠点の形成
- 生活環境の保全
- 美しい自然を守り、住みよい環境をつくるために
- 下水道事業の推進
- 火葬場・霊園の整備
- 災害に強いまちづくり
- 消防・救急体制の整備
- 犯罪のないまちを目指して
- 交通安全対策
- 安全な消費生活



資源循環型社会の構築に向けて

総合的な環境保全の推進 114万4千円

『環境基本条例』に基づき、市の具体的な施策を示す『環境基本計画』を策定するほか、温暖化対策推進法に基づく市の事務事業に関する実行計画や環境配慮指針、グリーン購入法に基づく環境物品などの調達方針の進行管理、環境保全審議会の運営を行います。

※**環境保全審議会**：市民や学識経験者、事業者、民間団体員など20人の委員で構成され、環境の保全などに関する基本的事項を調査審議します。

人と自然のふれあい拠点の形成

市民農園 97万9千円

自然とのふれあいや高齢者の生きがいづくりなどの場として開園します。

▼**開設期間** 4月下旬～10月下旬

▼**場所** 札内町

▼**区画数** 40区画（1区画約50平方メートル）

▼**施設** 水道施設、簡易トイレ

▼**問い合わせ** 農林水産課

(☎ 85 2 3 2 1)



若山地区湿原の保全 500万円

湿原保全に向けた対策工法を検討するため、湿原内の水位、水質や地下水の観測を行います。

▼**問い合わせ** 都市計画課

(☎ 85 4 1 1 5)



ふおれすと鉢山の運営管理 3千
773万円（うち人件費995万5千円）

平成14年4月25日にオープンした宿泊型の自然体験学習施設『ふおれすと鉢山』では、人と自然のふれあう場として、自然環境に配慮・調和したさまざまな体験活動ができます。

・自然を教材にし、直接的な体験を重視した多彩なプログラムを利用者に提供します。

・日常の調査業務から得た旬の自然情報を発信します。

▼問い合わせ ふおれすと鉢山

(☎) 2569



事業名	内容	事業名	内容
子ども自然教室	バードウオッチング入門（6月）	子どもチャレンジキャンプ	まるごとアドベンチャー（沢登や釣りなどの楽しい体験型イベント）
	思いっきり川遊び（7月）		冬まつり
	サケウオッチング（10月）	自然・環境に関するセミナー	鉢山地区のフィールドで動・植物などの調査を行う研究者や自然愛好団体・サークルを支援するとともに、研究や活動の成果を講演・講習会や教室などを開いて、市民のみなさんに還元します。
	本物のトレジャーハント（11月）		
	アニマルウオッチング（1月）		
鉢山フィールドワーク	初夏の鉢山地区	環境問題を考えるワークショップ	環境問題に対する情報と話し合う場を提供します。
	紅葉の鉢山地区		
	鉢山遺跡めぐり		
	冬の鉢山地区		
指導者ステップアップ講習会	クラフト講習会		
	標本の作り方		

みどり豊かなまちづくりを推進
678万3千円

・市民緑化推進事業：各町内会を対象に、希望する樹木や多年草などを配布し、公園などの公共施設へ植栽します。

・花いっぱい運動：公共施設へのプランターの設置や地域の団体などの花植え活動を進めるため、市民憲章推進協議会と連携し、花苗の配布を行います。

・沿道美化事業：道道弁景幌別線などの沿道花壇へ、町内会や商店会などの参加のもと、花植えを年2回行います。（春：パンジー、夏：インパチェンス）

・市民記念植樹事業：結婚や誕生などの記念植樹者を募り、記念者やその家族による植樹を秋に行います。

・沿道緑化推進事業：みどりの少ない国道沿いの空き地や鷺別地区道道沿いの植樹ます、緑化推進協議会や町内会が中心となって植栽を行います。

・試験育苗事業：緑化推進協議会が中心となり、町内会などの協力のもと、ビニールハウス内で種から花苗を育てる試験育苗を行います。



『みどりの講演会』『みどりの教室』の開催

- ・グリーンデータバンク：家庭で不要になった樹木などの有効活用を図るため、樹木の提供情報などを『広報のぼりべつ』に掲載するとともに、受取希望者への仲介を行います。
- ・みどりづくりマニュアル：庭木や花など、家庭のみどりづくりに関するマニュアルを作成し、希望者に配布します。



▲ラブグリーンフェスティバル in KAMEDAで行われた『ジャブジャブ川金魚すくい』

ラブグリーンフェスティバル in KAMEDAの開催 59万3千円

緑化推進事業の一環として、6月上旬にみどり豊かな亀田記念公園でみどり市や盆栽展、ウオークラリー、木の葉などを使った『森の工作室』などを開催し、みどりの環境づくりの大切さや自然の素晴らしさをPRします。

▼問い合わせ 都市計画課

(☎ 4115)

生活環境の保全

リサイクルの啓発 153万6千円

びんやペットボトルの資源ごみを回収し、ごみの減量化や資源の再利用を図るほか、ガーデニング講習会やリサイクル教室などを開催してリサイクルに対する意識の高揚を図ります。

リサイクルまつり'02イン登別・白老経費 70万円

リサイクルまつりを通して、市民にごみの減量やリサイクル意識の向上を促し、資源循環型社会の形成に努めます。

指定ごみ袋の作成 4千80万円

費用負担の公平化やごみの減量、処理費用の軽減などを図るため、家庭から排出されるごみの有料制を継続実施し、指定ごみ袋作成などを行います。

ごみステーションネット推進事業補助金 10万9千円

ごみステーションにネットを掛けることで、周辺の美観や衛生を保持し、ごみ収集の効率化を図るため、町内会に対し、ごみネット購入費の一部助成を行う登別市衛生団体連合会に補助金を交付します。

ごみ再資源化推進事業補助金 50万円

ごみの減量やリサイクルの普及・啓発、ごみステーション管理や分別排出の協力を町内会に呼びかけるクリーンリーダーの育成を行う登別市衛生団体連合会に補助金を交付します。

生ごみ堆肥化容器購入費補助金 50万円

家庭から出る生ごみの減量化とごみの有効利用を目的に、生ごみ堆肥化容器購入費用の一部助成を行う登別市衛生団体連合会に補助金を交付します。

資源回収団体奨励金 360万円

新聞紙や金属類、生きびんなどの再利用可能な資源回収を行う町内会や婦人部などの登録団体に対し、奨励金を交付します。

登別市衛生団体連合会運営助成金 18万円

塵芥の収集運搬に要する経費 1億2千936万円

市内約1千400カ所のごみステーションのごみの収集や運搬を行います。

千歳最終処分場の整備 2億2千672万円（うち国3千859万6千円）

平成11年度で埋め立てを終了した千歳最終処分場を適正に閉鎖するため、実施設計や処分場周辺の清掃、一部閉鎖の工事を行います。

クリンクルセンターの運営管理 4億7千661万9千円



クリーンチケット取扱店の委託 222万8千円

市民のみなさんの利便性を図るため、地域ごと（市内58カ所）にクリーンチケット取扱店を設置しています。

▼問い合わせ 環境資源課
（クリンクルセンター内 ☎ 011-2958）

廃棄物管理型最終処分場の運営管理 5千240万4千円



美しい自然を守り、住みよい環境をつくるために

公害対策 140万8千円

交通騒音調査や河川の水質測定調査、大気中のダイオキシン類の測定などを行います。

し尿処理施設の維持管理 3千448万3千円

し尿処理施設の運転管理 3千202万5千円

し尿の収集 9千384万3千円

し尿処理世帯は、約8千200世帯。し尿収集量は約1万9千324^{キログラム}。

し尿処理施設の整備 1千500万円

野犬掃討・蓄犬登録・カラスの巢駆除 718万9千円

▼問い合わせ 環境資源課
(クリンクルセンター内 ☎ 2958)

有害鳥獣の駆除 70万6千円

▼問い合わせ 農林水産課
(☎ 2321)

登別市民有林造林推進への補助 248万8千円

伐採跡地の森林の荒廃を防ぎ、森林資源の確保を図るため、鉾山地区の植

栽のほか、幼木を保護するため、鉾山川上地区の草刈りを行います。

登別市森林愛護組合連合会助成金 22万円

森林の保護 77万6千円

森林資源の保護や巡視活動などによる林野火災予防の啓発や、治山施設の維持などを行います。

河川環境整備の特別対策 38万円
(うち道38万円)

来馬川沿いの町内会や商店街振興組合、商工会議所青年部などで組織する『来馬川を愛する会』が行う春と秋の河川敷の清掃や草刈りなどの活動を支援します。

▼問い合わせ 管理課 (☎ 3230)

下水道事業の推進

公共下水道の整備 23億9千267万6千円（うち国8億700万円・平成13年度からの繰越額7億3千430万円）

鷺別町の整備を引き続き進めるほか、新たに大和町の整備を行います。また、登別地区に向けた幹線管渠の整備などを行います。



若山浄化センターの増設 4億8千820万円（うち国2億6千100万円）

若山浄化センターに流入する汚水の増大に対応するため、増設工事を平成13年度に引き続き行います。



下水道台帳の作成 642万7千円
下水道管の清掃調査など 2千248万3千円

下水道管内につままっている沈でん物を除去し、破損状態を把握して今後の維持計画を立て適正な管理を行います。

下水道管やマンホールなどの補修 4千32万7千円

若山浄化センターの運営管理 1億863万1千円

下水道汚泥の処分 2千845万円

若山浄化センターで発生する下水道汚泥をクリンクルセンターで焼却処分します。

水洗化工事の補助金など 2千464万7千円

水洗便所改造などの補助…1千980万円

下水道供用開始から1年以内に自己資金で個人住宅の水洗化工事を行う方（新築を除く）に補助します。

▼補助金額

①水洗便所改造工事…1カ所当たり2万3千円

②排水設備設置工事…1件につき1万円

③①と②の工事を行った場合…3万3千円

水洗便所改造などの融資あっせん利子補給金…484万7千円



下水道供用開始から3年以内に水洗化工事を行う方の、借入金の利子分を市が負担します（3年を過ぎた方は半額負担）。

▼融資あっせん限度額

①水洗便所改造工事…1カ所当たり38万円以内

②排水設備設置工事…1件につき21万円以内

③①と②の工事を行った場合…59万円
※土地の形状で、工事費が59万円を超える場合は、超えた額の半分を加算します。

▼問い合わせ 下水道課

(☎859052)

公共施設の水洗化 1千456万円

平成14年度は、老人憩の家『共和園』（栄町）、『みその園』（美園町）、栄町保育所の3カ所を水洗化します。

火葬場・霊園の整備

墓地・火葬場の運営管理 2千949万6千円（うち人件費2千15万4千円）

火葬場建替事業 2億9千880万円

施設全体が老朽化しているため、平成14年・15年度の2カ年で建て替えます。

火葬場の整備 190万円

老朽化した霊台車の耐火物を張り替えます。

（仮称）新富浦墓地造成事業 5千863万2千円

既設墓地数の不足に対応するため、3期に分けて新墓地を造成します。

墓地管理基金積立金 78万円

墓地の整備や清掃などを行うため、富浦墓地や亀田霊園、中登別墓地の区

画墓地貸付時の墓地管理清掃手数料を積み立てしています。

▼問い合わせ 市民課

(☎851855)

災害に強いまちづくり

サイレン遠隔吹鳴装置の設置 5
千680万円

災害時に消防職員や消防団員などの迅速な召集を行い、初動体制を確立するとともに、地域住民に対して災害の情報や音声やサイレンなどで伝え、避難や救助活動を促進することで被害を最小限度に食い止め、市民の安全確保の推進を図ることを目的に設置します。

『サイレン遠隔吹鳴装置』は、2カ年計画で市内各地域の公共施設など39カ所の設置を予定し、平成13年度は、消防各支署や幌別東団地広場、いなほ公園（富岸町）など21カ所に設置しました。平成14年度は、幌別西小学校や栄町婦人研修の家など18カ所に設置する予定です。

災害対策 1千万円

災害の発生を未然に防ぐために警戒出動するほか、災害による被害が発生した場合に迅速な応急復旧を実施します。平成13年度の注意報・警報発表に

よる災害出動件数は7件（うち被害発生件数は5件）。

避難所表示板の設置 92万円

これまでに120カ所に標識を設置してきました。平成14年度は新たに10カ所の設置を予定しています。



防災資機材購入整備費補助金 150
万円

町内会などによる自主防災組織の防災活動に要する資機材購入に対し、補助金を交付します。

災害見舞金 85万円

災害による被害を受けた市民へ、被害状況などに応じ、災害見舞金を支給します。

総合防災訓練の実施 116万円

平成14年度は、7月上旬に中央地区で地震や大雨災害を想定して総合防災訓練を行います。

防災対策 171万1千円

災害に備えるため、防災組織や非常時の配備体制などを定めた『地域防災計画』の整備や、防災対策などについて検討する防災会議の開催（年1回）、防災行政無線の整備などを行うほか、災害時の状況通報などを行う防災協力員を各町内会などに1人ずつ委嘱し（107人）、防災対策の充実を図ります。



▼問い合わせ 総務課

(☎ 85 1 1 3 0)

登別温泉中央通り道路災害防除
2千626万9千円（うち国1千200万円）

登別温泉町の五色橋付近のがけ崩れを防止するため、昨年に引き続きのり面（急斜面）改良を行います。

河川の維持補修 669万円

市内を流れる川の河川敷の草刈りを行うほか、昨年に引き続き、大雨による川のはんらん被害を防ぐため、サト岡志別川などの河川内の土砂や草の除去を行います。

ヤンケシ川・来馬川支川・サンライバの沢川の河川改修 2千100万円

大雨による川のはんらん被害を防ぐため、河川整備を行います。

河川防護柵の設置 200万円

小規模治山事業（常盤町4丁目）
600万円（うち道400万円）

当該急傾斜が崩壊したため、道費補助事業の小規模治山事業で整備を行い、地域住民の防災対策に必要な施設を設置する。

消防・救急体制の整備

消防広報車の導入 736万6千円
（うち道241万8千円）

消防ポンプ自動車の導入 2千311万円（うち道361万7千円）

消火栓の新設 900万円（うち道698万2千円）

市内には消火栓や防火水槽、大容量防火井戸などの消防用水を確保するための施設が615カ所ありますが、消火活動を迅速に行うため、消火栓を適正に配置します。平成14年度は2基新設し、9基を更新します。

消防団の活性化に要する経費 206万円

災害時に速やかな対応が図られるよう、市内の消防団員175人（うち女性消防団員は10人）の教育訓練や技能訓練などを行います。

救急救命士の養成に要する経費 315万1千円

現在、市には13人の救急救命士がいます。平成14年度中に新たに1人を養成します。

水難救助用資器材の購入 190万円

水難事故に対する効果的な救命・救助活動を行うため、潜水装備品や水難救助スーツを購入します。

大規模災害用備蓄器具の整備 54万6千円

災害発生時などに円滑な消防活動を行うため、救助用ロープ、チェンソー、切断用手動カッターなどを購入します。

高度救急資機材の購入 388万5千円

救急救命士が医師の指示による適切な救命活動を行うため、新日鐵室蘭総合病院に心電図受信装置を設置します。



て 犯罪のないまちを目指し

室蘭登別防犯協会連合会助成金 65万円

登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会助成金 50万円

社会を明るくする運動登別地区実施委員会負担金 18万円

登別地区保護司会補助金 25万円

街路灯設置の補助 1千116万円

町内会が地域の安全を確保するために設置・改修する街路灯の工事費の3分の2以内を補助します。

交通安全対策

道路反射鏡（カーブミラー）の設置 100万円

見通しの悪い交差点などに設置し、交通事故の防止を図ります。

照明灯の設置 100万円

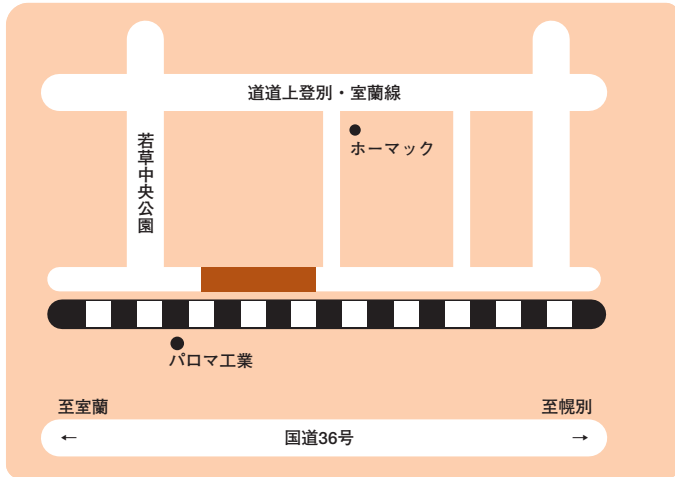
防犯や安全対策のため、幹線道路や通学路に照明灯を設置します。

交通安全の推進 203万9千円

幼稚園や学校、老人クラブなどでの交通安全教室や交通安全運動を通じ、市民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止に努めます。

交通傷害保険 292万8千円

市民を対象に、少額な保険料で交通事故によるけがを保障します。



平成7年度から行っているJR室蘭本線沿い（若草町）の美園57号線の歩道新設工事を、平成14年度も引き続き行い、10月の完了を予定しています。

美園57号線の歩道新設 2千万円

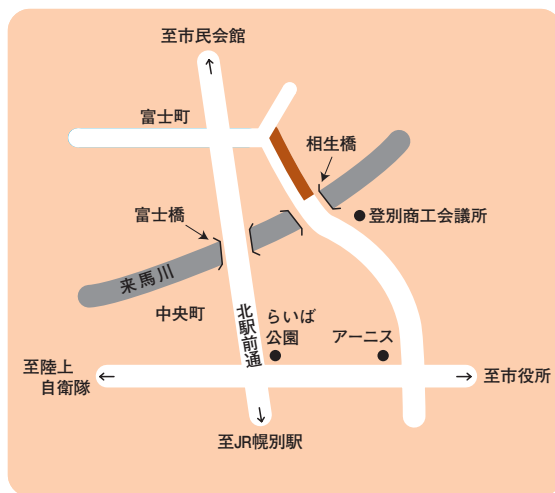
シルバー交通安全推進事業補助金 20万円

登別市交通安全協会交付金 430万円



こう配が急な坂道である美園30号線と新生1号線のロードヒーティング工事をを行います（美園30号線は、平成14年度継続）。11月末に完成する予定です。

ロードヒーティング整備 2千925万円（うち国1千20万円）

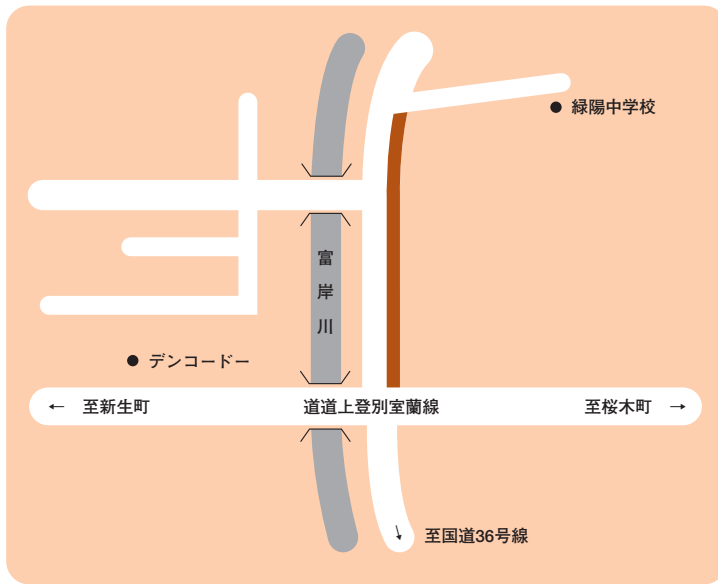


中央町地区の道道拡幅整備に合わせ、安全で快適に通行できるように歩道（延べ55坪、幅員3・5坪）の整備などを行います。

中央26号線歩道の改良 1千万円

鷲別学田路線歩道の改良 3千27万円（うち国1千650万円）

緑陽中学校の通学路である富岸川沿いの鷲別学田路線の歩道を拡幅整備します（延長350㍎、幅員3・5㍎）。



市道維持補修 1億4千31万8千円

市道の道路排水管の補修や側溝などの清掃、除雪、融雪剤散布、道路の白線設置などを行います。



安全な消費生活

消費者行政の推進 69万8千円

消費生活モニターを委嘱して、物価や量目の調査を行い、消費者の意識高揚を図ります。

登別消費者協会運営助成金 27万円

消費生活展開催補助金 18万円

商品の安全性やリサイクルなどを実演や展示で紹介し、正しい知識の普及や啓発を図る消費生活展を支援します。

法律相談の委託 37万8千円

交通事故や金銭貸借、損害賠償などの法律問題を解決するため、鉄南ふれあいセンターと弁護士事務所での弁護士による相談を行います。

・鉄南ふれあいセンターでの相談：月1回、定員6人

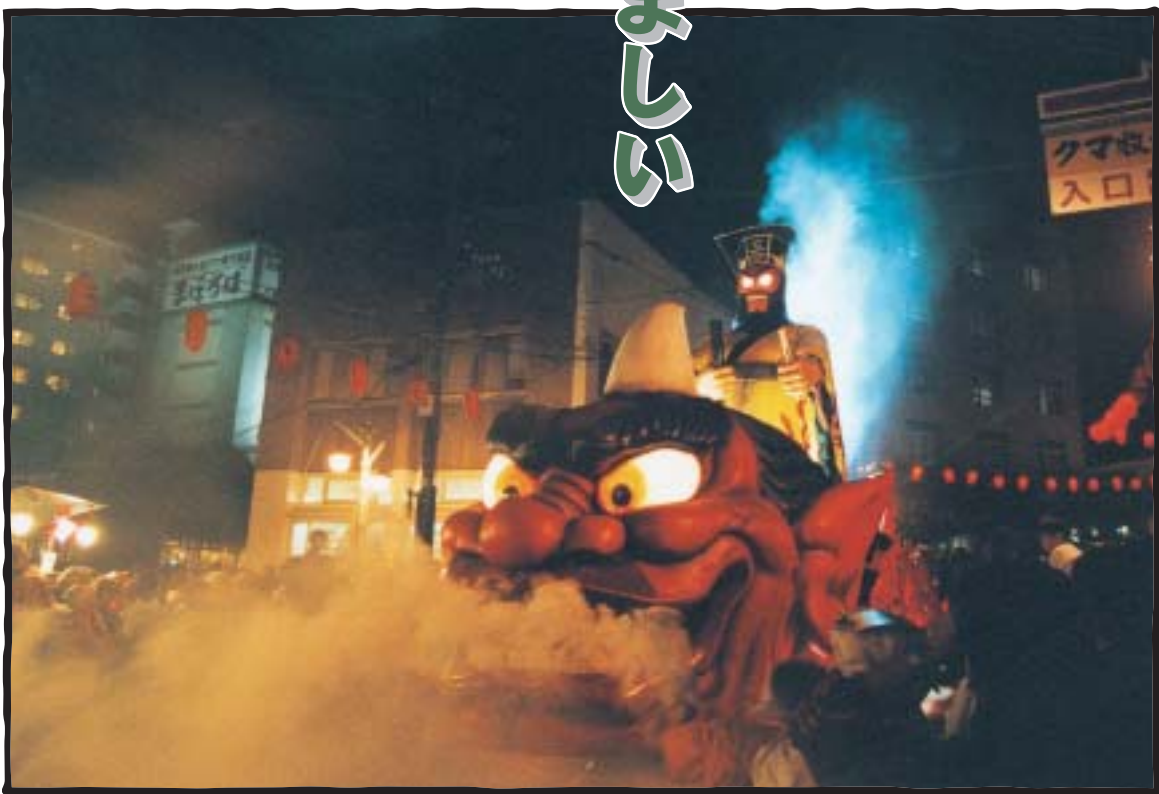
・弁護士事務所での相談：月6人

▼問い合わせ 市民課（☎1855）

第3章

大地に根ざしたたくましい 産業が躍動するまち

産業振興・観光・農業
・林業・水産業・商業



- 産業を担う人づくり
- 企業誘致の促進
- 世界が集い、世界が楽しむ北の観光拠点をつくる
- 海と大地の恵みを力に変える
- まちの経済活性化のために



産業を担う人づくり

事業所内職業訓練の助成 210万円

登別地方高等職業訓練校で行うパソコン教室や木造建築科をはじめとする6科目の訓練事業の助成を行います。

中小企業相談事業補助金 900万円

商工業者の経営の安定化や健全化を目的とした登別商工会議所中小企業相談所の金融や経営などの相談事業を支援します。

労働対策 125万9千円

労働者や経営者を対象に労働対策講習会を開催し、雇用に関する知識習得の推進のほか、雇用状況の把握を行います。

雇用対策の救援 3千975万2千円

公共施設の清掃や通学路などの除雪作業を委託し、雇用の場の確保を図ります。

労働振興事業の助成 200万円

市内の労働者の雇用の確保や職場環境の改善を目的に、活動する労働組合団体に対し、助成金を交付します。

勤労者特別融資積立金 1億1千460万円

市内に居住する勤労者の生活安定を目的に、生活などに必要な資金のあつせんを行うための貸付金を積み立てします。

職業訓練センターの維持 23万5千円

労働福祉センターの運営管理 万9千円



婦人センターの運営管理 1千78万1千円



緊急地域雇用対策 2千305万円
(うち道2千305万円)

厳しい雇用情勢や失業対策として、観光関連アウトドア施設の周辺整備などを行い、雇用や就業機会の創出を図ります。

企業誘致の促進

企業誘致の推進 88万6千円

市内経済の活性化を図るため、製造業や観光産業の企業誘致を図り、市内産業の厚みを増し、雇用の場の確保を図ります。

企業立地振興補助金 127万2千円

誘致促進と誘致した企業の活性化を図るため、新たに事業所を設ける誘致企業や、すでに誘致した企業が設備を増設・雇用増をする際、補助金を交付します。

▼問い合わせ 商工労政課

(☎ 21171)

世界が集い、世界が楽しむ北の観光拠点をつくる

登別を名実ともに道内における中心的な観光拠点として確立するため、観光を取り巻く新たな潮流を敏感に察知し、新しい時代のニーズに対応できる観光地づくりを進めるとともに魅力あるイベントの創出など観光ソフトの充実に努め、市民にとって住みよいまちであることが、訪れる人にとっても魅力的なまちであることを基本に個性的な観光地づくりを進めます。

観光開発基金積立金 1千万円

観光産業の振興を図るため、積み立てします。

登別観光協会助成金 1千250万円

観光振興特別対策事業補助金 6千万円

登別観光協会が行う国内外の誘客宣伝や修学旅行誘致道外キャンペーン、『登別地獄まつり』などの事業を支援

します。

カルルス・サン・スポーツランドの運営管理 256万7千円

観光客誘致の促進 702万円

誘客キャンペーンの実施や外国語観光パンフレットの作成などを行い、登別の観光を国内外に広く周知することで観光客の増加を図ります。

観光ホスピタリティ推進の補助 100万円

観光ボランティアガイドの養成や郷土料理、土産品の研究などの活動を支援します。



海と大地の恵みを力に変える

【農業の振興】

農村振興基本計画作成事業費800万円（うち国400万円）

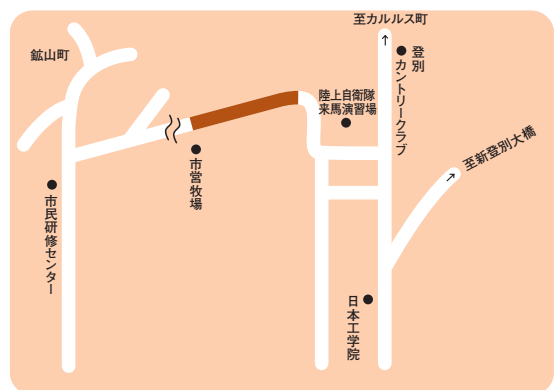
土地の農業上の利用と他の利用を調整しながら、地域の将来像及び農村振興施策の基本方針などを内容とする個性ある地域づくりを実現し、農村の総合的な振興に資する。

農業用施設の管理 96万5千円

農業用排水路などの施設の補修などを行います。

来馬第1地区道営農免農道の整備（第2期） 1千360万円

来馬地区の交通の利便性などを図るため、道路新設などの整備を行います。



道営草地整備改良 675万円

家畜の飼料となる草地を栄養分豊富な牧草地へ改良するほか、パドック（家畜の運動場）の新設などを行い、農業生産の向上を図ります。

市牧場管理 260万円

草地不足の酪農家の育成牛などを市牧場（鉢山町）で預託することにより、飼養管理労働の省力化を図ります。

札内高原館の運営管理 808万6千円

社会教育施設として「加工研究・コミュニティ・体験学習」の三本柱を基本に、地元農業の振興を図ります。



登別農業振興研究会補助金 20万円

室蘭・登別酪農振興協議会補助金 10万円

胆振西部乳牛検定組合補助金 41
万4千円

受精卵移植推進への補助 45万円

乳牛や肉牛への受精卵移植の研究や、受精卵移植技術者の養成などの支援を行います。

酪農ヘルパー運営の補助 72万円

酪農ヘルパーの導入で酪農者の休暇の取得などを図り、酪農経営の安定や廃業の防止、後継者の育成を促進します。

【林業の振興】

林業構造改善事業（市町村推進事業） 61万8千円（うち国30万9千円）

森林の保全を含めた自然との共生を図るためにパンフレットを作成するとともに、市民を対象に自然環境セミナーを開催します。

【水産業の振興】

漁場改良の補助（ヒトデなどの大規模駆除） 210万円

ほっき貝の外敵であるヒトデとタマ貝の駆除を行います。

エゾバフンウニ種苗放流事業補助金 230万円

資源づくり事業を推進するため、エゾバフンウニの種苗を中間育成し、その後、放流する登別漁業協同組合に対し補助を行います。

登別救難所特別対策事業補助金 80万円

海難事故が発生した場合の救助や、救助に備えた訓練などの活動を支援します。

登別漁港維持管理事業補助金 34万5千円（うち道34万5千円）

登別漁港維持管理事業補助金 10
万3千円（うち道4万円）

に まちの経済活性化のため

登別商工会議所会館改修事業補助金 326万3千円

中小企業特別融資利子補給金 32万5千円

中小企業特別融資制度の一部の資金を利用した方の負担軽減を図るため、借入金の利子分を市が負担します。

中小企業特別融資積立金 3億円

中小企業者の資金調達の円滑化や資金確保の環境づくりを進めるため、融資を行います。



**金融緊急対策信用保証料補給金
141万4千円**

信用保証が必要な市や道の融資制度を利用する中小企業者の負担を軽減するため、その保証料を補助します。

**住宅改良促進特別融資積立金
1億5千万円**

マイホームの小規模改修や障害をもつ方、高齢者が暮らしやすいバリアフリー住宅への改良を促進するとともに、市内業者の事業量の確保を図るため、低利の融資を行います。

**中小企業振興事業の助成
13万円**

企業体質の強化や経営の安定化を図るため、中小小工業者が集まって協同組合や企業組合などの中小企業団体を組織した団体へ助成金を交付します。

**物産展参加補助金
70万円**

地場産品の紹介や宣伝、販路拡大のため、姉妹都市・白石市の農業祭や各都市で開催されるイベントなどへ参加する物産会参加企業（22社）を支援し

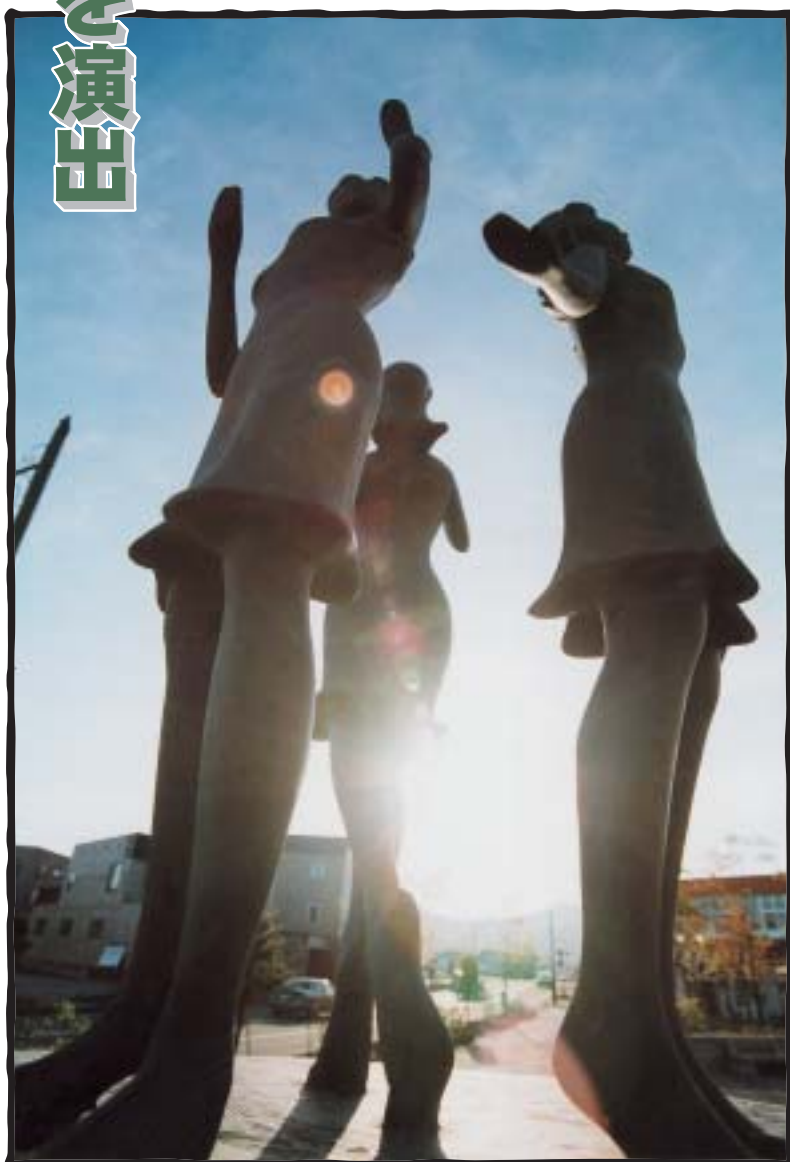
ます。



第4章

調和の中でふるさとを演出するまち

交通・情報・都市景観
・市街地整備・公営住
宅・上水道・公園



- 機能的な交通・情報ネットワークで活力とふれあいを運ぶ
- 情報・通信体制の整備
- 情報化の推進
- 美しい都市景観の創造
- 住みよい市街地の整備と宅地・住宅の確保
- 水道事業などの推進
- 公園の整備

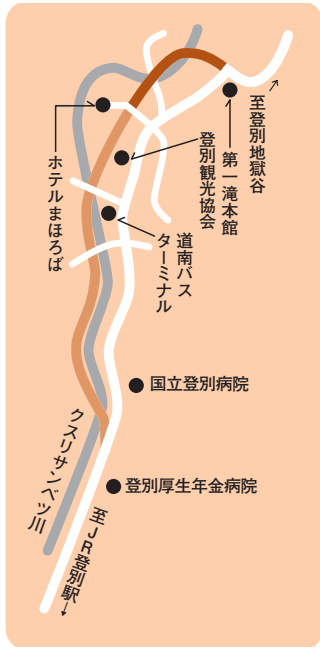


第4章 調和の中でふるさとを演出するまち

機能的な交通・情報ネットワークで活力とふれあいを運ぶ

登別温泉バイパス（道道倶多楽湖公園線）の整備（北海道事業）

登別厚生年金病院付近からホテルまほろば付近までの延長820mが完成し、平成13年度からは、ホテルまほろば付近から第一滝本館付近までの整備を行っています。



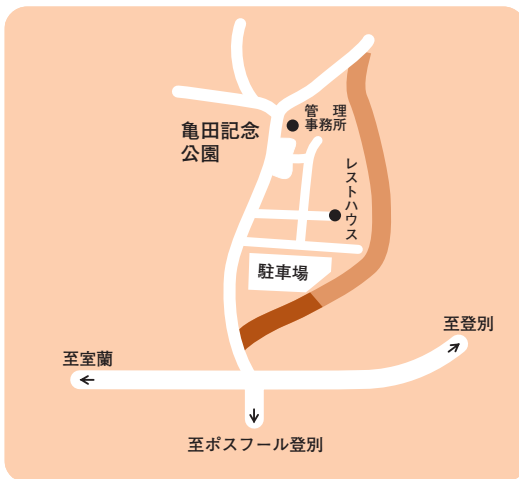
カルルス路線の改良 1億930万円
(うち国4千700万円)

カルルス町付近に架かる『滝の上橋』の整備を昨年に引き続き行います(延長24・8m、幅員7・5m)。



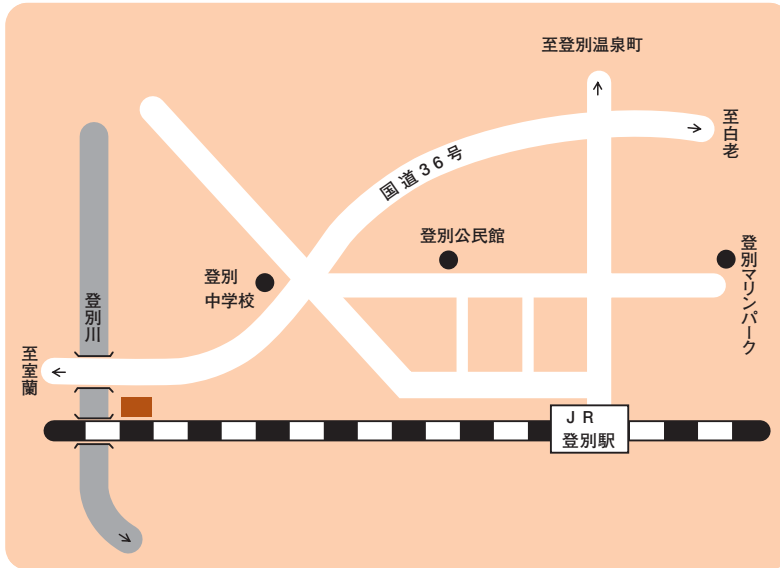
富岸西路線の改良 1億847万円
(うち国3千600万円、道4千810万円)

亀田記念公園入口付近の西富岸川に架かる『富岸西路線1号橋』(延長15・7m、幅員7・5m)の整備を昨年に引き続き行います。



石山通りの改良 2千500万円

石山通りの改良に伴い、登別東町2丁目
の雨水排水の流末部(延長8¹/₂km)を整備
します。



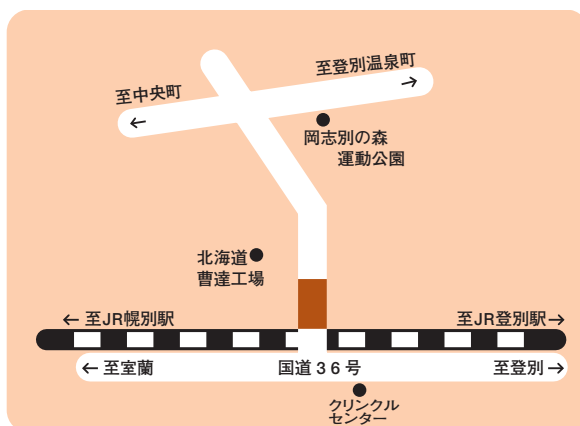
東札内線の改良 3千80万円

富浦墓地から札内町への道路の一部
(延長130¹/₂km)の改良舗装を行います。



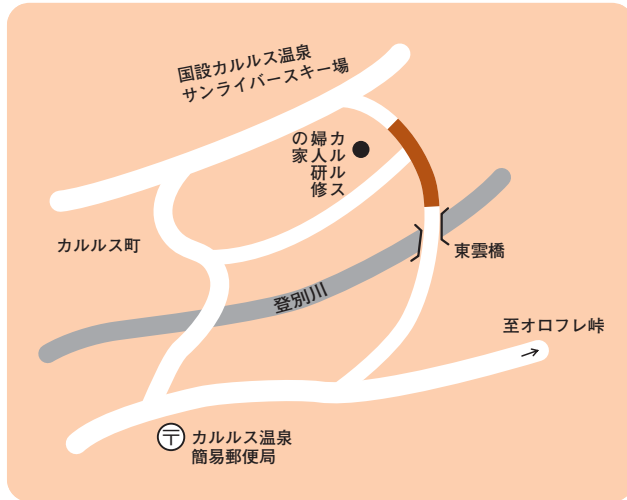
中央通りの改良 1千万円

岡志別の森運動公園前からJR踏切り
までの排水の整備(21¹/₂km)を昨年に
引き続き行います。

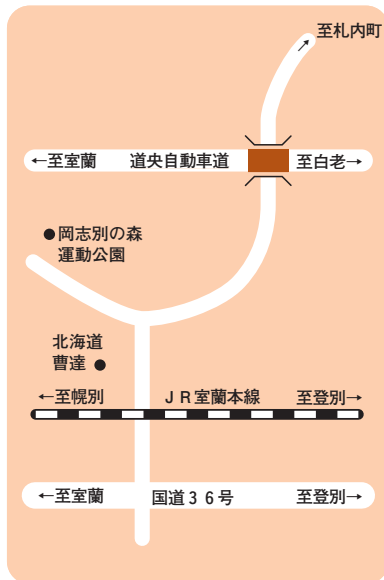




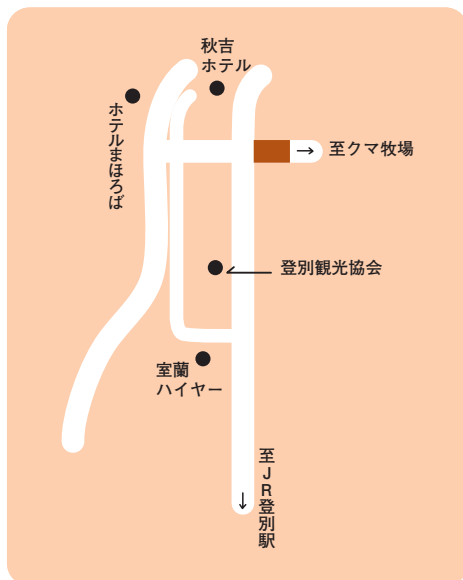
第4章 調和の中でふるさとを演出するまち



カルルス東雲線外1の改良 6千166万6千円（うち国4千609万8千円）
 『東雲橋』（カルルス町）付近の道路の一部（延長140㍎、幅員7・5㍎）の改良・舗装を平成13年度から継続して行います。



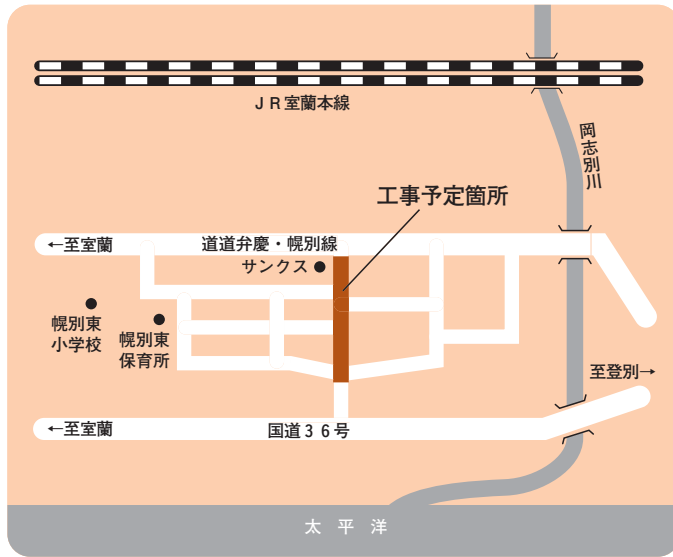
サト岡志別路線の改良 2千422万円（うち国1千200万円）
 高速道路と交差している札内町の『新サト岡志別橋』の耐震補強工事を行います。



温泉10号線の改良 4千万円
 極楽通りからクマ牧場に通じる道路の一部（延長50㍎、幅員8・5㍎）を改良・舗装やロードヒーティング工事をを行います。

幌別26号線の改良（地方改善施設整備） 905万円

幌別東団地から道道弁慶幌別線に通じる道路の改良・舗装・排水整備を行います。



市道舗装排水整備 4億円

市道の改良・舗装や排水整備を行います。

橋梁の維持補修 317万円

橋の補修工事などを行います。

情報・通信体制の整備

広報広聴活動 2千545万5千円

・広報のぼりべつの発行：市の財政状況や行おうとする事業・プロジェクト、直面している課題などについて、写真や図などを用いて分かりやすく紹介する特集を組むほか、活躍している市民や催し、お知らせ、募集などを掲載した広報紙を毎月1日と15日の月2回（5・7・9・11・1・3月は1・15日合併号）発行し、各戸配布します。



ふるさと通信『湯かげん』の発行：

首都圏在住の登別市出身者やゆかりのある方を対象に、ふるさと『のぼりべつ』の近況などをお知らせする『湯かげん』を発行します。



・広報ビデオの制作：市内で行われる行事や事業などを季節ごとにまとめた広報ビデオなどを制作し、市内の公共施設で随時放映するほか、希望する方に貸し出しします。



・各種懇談会の開催：市が直面している問題や地域問題などについて、連合町内会単位で市長をはじめ、市の部長職などと話し合う『市政懇談会』や『地区懇談会』を開催するほか、まちづくりなどについて市長とひざを交えて話し合う『市長室フリータイム』、グループ単位で市長と懇談する『ふれあい懇談会』、市職員が地域の抱える問題を町内会単位できめ細かくお聞きする『地区課題の把握』、市職員が市の事業や制度について分かりやすく紹介する『市職員出前フリートーク』を開催し、情報の共有化と意見・提案の集約を図ります。



・見学会の開催：市民や市内の団体を対象に、公共施設やまちの産業などを見学する『市民見学会』を春と秋の年2回開催するほか、室蘭・伊達市と共同でそれぞれの市の公共施設や産業などを見学する『三市合同施設見学会』を年1回開催します。



▲地区懇談会



▲若山浄化センターを見学する市民のみなさん(市民見学会)

まちづくりカタログの発行 598万
6千円

市政情報の根幹である予算を基本に、市がどのような事業に取り組んでいるのかを総合的にお知らせする『まちづくりカタログ』（みなさんが今見ているこの冊子です）を発行し、各戸配布します。

▼問い合わせ 情報推進課（広報広聴）
☎6586

登別ホームページの充実

ホームページを活用して市政情報の受発信機能を高めます。

▼ホームページアドレス
<http://www.city.noboribetsu.hokkaido.jp>



情報化の推進

OA化の推進(市役所業務) 2千409万円

市庁舎事務所内にパソコンなどを計画的に設置し、コンピュータネットワークなどの情報通信技術を事務に取り入れ、事務の効率化・高度化を図ります。

OA化の推進(議会情報化推進) 219万7千円

市議会の各会派室と事務局にパソコンなどを設置し、情報収集やホームページによる会議録の公開など、議会の情報提供を行います。

財務会計システムの管理に要する経費 813万6千円

市の予算の歳入や歳出などをコンピュータで管理し、財務会計事務処理の効率化・省力化・迅速化を進めます。

行政事務のコンピュータ処理に要する経費 5千418万9千円

住民記録や印鑑登録、税、国民年金、国民健康保険、介護保険、児童手当、し尿処理手数料、上下水道料金などの事務をコンピュータで処理し、行政事務の効率化・迅速化を図ります。

地域情報センターの運営 1千171万7千円

登別中央ショッピングセンター・ア二スの2階に設置した地域情報センター(愛称『pipピッピ』)では、高速なインターネット接続や各種アプリケーションソフト、映像装置など市民が情報通信技術に親しめる拠点となっています。

また、本年度は市民が気軽にパソコンに親しめるよう、各種パソコン講座を開催します。

- ・地域情報センター事業費：150万円
- ・地域情報センター維持管理経費：1千21万7千円



地域イントラネット維持管理経費 2千76万円

市内小・中学校や市役所などの公共施設37カ所を結ぶ光ファイバーネットワーク機材などの保守と、適切な運用を図ります。



IT講習会の開催 680万8千円
(うち道590万9千円)

IT(情報通信技術)・基礎技能の普及を図るため、市民を対象にパソコンの基礎操作などの技能講習を行います。

▼対象 20歳以上の市民で、パソコン操作初心者

▼場所 鷺別公民館、婦人センター、市立図書館を予定

▼問い合わせ 情報推進課(情報政策)
(☎5109)

住民基本台帳ネットワークシステムの構築 2千27万円

平成15年度を目前に、国や都道府県、市町村を専用回線で結び、全国どこからでも住民票(写し)の交付や転入・転出が受けられるよう整備します。平成14年度は、住民基本台帳カードを発行するための機器等の整備と既存住民記録システムのプログラム改造を行います。

戸籍や住民票などの交付 846万8千円

戸籍や住民票、印鑑登録の交付などを行います。

テレビ中継局の維持管理 136万6千円

テレビの難視聴を解消するために、鷺別・幌別・登別の3カ所に設置したテレビジョン中継局の保守点検や補修などを行います。

テレビ中継局バックアップシステムの導入 280万4千円

美しい都市景観の創造

まちづくりアクションプランの策定 1千万円

都市づくりを進める上で互いに密接な関係にある3つの計画、土地利用や交通施設、公共施設の在り方を盛り込んだ『都市計画マスタープラン』、まち並みや自然景観の形成などの方向性を示した『景観形成基本計画』、緑の保全や緑化推進、公園や広場の整備に関する指針となる『緑の基本計画』を総称する『まちづくりアクションプラン』。同プランは、将来の都市づくりについて多くの市民の参画を得ながら平成11年度から進めてきており、平成14年度は最終年度として計画をとりまとめます。

都市計画審議会の運営に要する経費 23万4千円

市が行う都市計画決定や都市計画に関する事項の調査審議を行います。委員は市民や学識経験者など12人が委嘱されています。

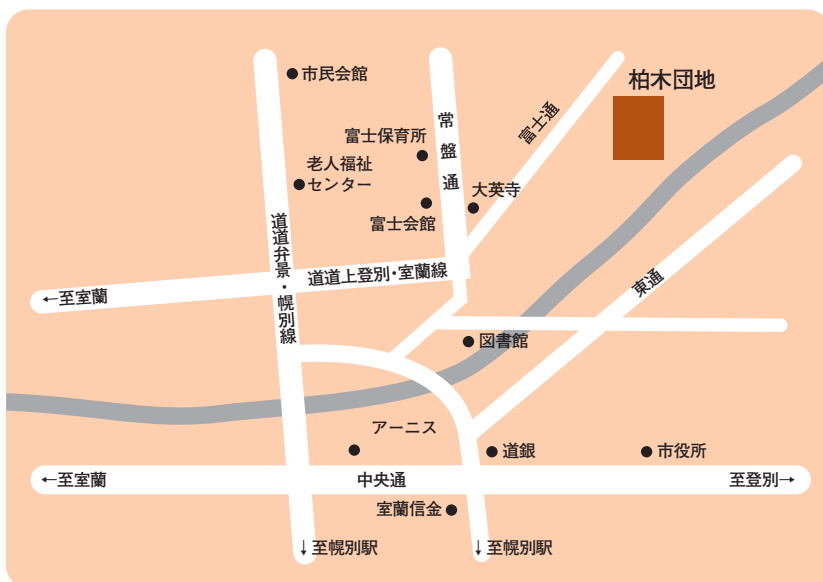
住みよい市街地の整備と 宅地・住宅の確保

地籍調査 1千652万2千円（うち
道568万5千円）

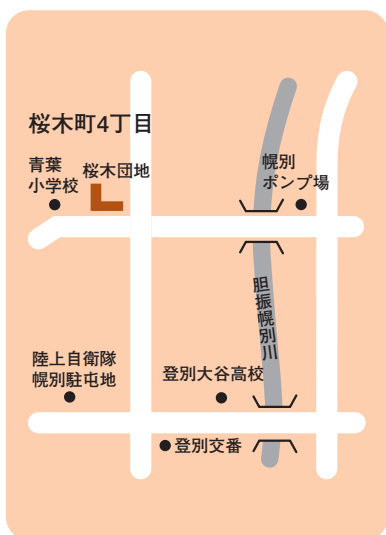
市内の土地について、所有者や地番、
地目の調査・測量を行い、地図などを
作成します。

高齢者などに配慮した市営住宅改
善 225万円

市営住宅に居住する高齢者や身体に
障害をもつ方が、日常生活を過ごしや
すいよう住宅内の段差解消や玄関・ト
イレ・浴室への手すり取り付けなどの
改善を行います。



市営住宅（柏木団地）の景観改善
1千900万円
市営住宅柏木団地（4階建て1棟）
の屋根のふき替えや外壁塗装を行いま
す。



市営住宅（桜木団地）建替事業
1億9千180万1千円（うち国9千
568万6千円）

平成10年11月に40戸・1棟が、平成
12年9月に45戸・1棟が完成しました。
平成13年度からは、2カ年継続事業
として5階建て45戸・1棟の建設に着
手しています（平成14年8月末に完成
予定）。

市営住宅（桜木団地）建替事業・
特定工事 4千302万6千円（うち
国2千151万3千円）

市営住宅（桜木団地）建替事業・
共同施設建設 1億3千173万2千
円（うち国6千561万5千円）



登別東町団地の建設（北海道事業）

平成7年7月に3階建て9戸が2棟、平成9年9月に3階建て12戸が1棟、平成12年3月に5階建て24戸が1棟、平成13年9月に5階建て24戸が1棟完成しました。

平成14年度は、10月末に3階建て18戸が1棟完成する予定です。

▼問い合わせ 建築課

(☎ 4399)



水道事業などの推進

水道事業の運営に要する経費
(人件費2億3千245万7千円)

水道施設の整備 5億7千506万1千円

老朽化した配水管の整備（改良、移設など）や配水池の建設のほか、水道メーターの購入や取り替え工事などを行います。

・送配水施設の整備：4億9千200万円
・浄水施設・水道メーター設備：8千306万1千円

原水・浄水に係る施設の維持管理
2億4千255万円

室蘭市から浄水を購入するほか、浄水場の補修などを行います。

配水施設・給水装置の維持管理
3千524万2千円

配水池や配水管、ポンプ設備などの管内漏水修繕などを行います。

消火栓の新設などの受託工事 1千751万8千円

市消防本部などからの依頼により消火栓の新設・修繕工事や給・配水管の漏水修繕などの工事を行います。



水道メーター検針と料金徴収
1千497万円

簡易水道施設の管理 1千294万8千円（うち道290万円）

札幌内地区を中心とした給水区域内の方に、良質な水を安定供給するため、減圧弁の取り替えや浄水場ろ過池の清掃などを行います。

公園の整備

公園の再整備 2千300万円

地域住民参加のもと、使いやすく親しみやすい公園づくりを行います。

- ・桜木公園の整備：1千500万円
- ・楡の木公園の便所建替：800万円



亀田記念公園の整備 7千万円

高齢者や身体に障害者を持つ方も安心して快適な利用が図られるよう、園路の勾配緩和・段差解消また身障者用トイレの設置などバリアフリー化に向けた整備を進めます。平成14年度は、駐車場の一部、下水道管の埋設工事を行います。

街区公園などの清掃 71万円

清掃や草刈りなど、公園や広場の維持管理業務の一部を町内会に協力していただき、交付金を交付します。

▼問い合わせ 都市計画課

(☎) 4115

川上公園多目的広場の整備 600万円

降雨後にできる水たまりを解消するため、基盤整備（透水層設置）を行います。

公園の維持管理 8千869万8千円

川上公園や亀田記念公園、富岸公園など、市内の117カ所の公園や広場の遊具、照明灯、水道施設などを維持管理します。

第5章

豊かな個性と人間性を はぐくむまち

生涯学習・幼児教育・
小中学校教育・特殊教
育・高等教育・学習機
会・文化活動・スポ
ツ・図書館



- 生涯学習社会の実現を目指して
- 幼児教育の充実
- 小・中学校教育の充実
- 学習環境の整備充実
- 学校給食事業
- 高校教育の充実
- 生涯学習の推進
- 生涯学習諸条件の整備
- 個性豊かなふるさと文化をつくる
- 生涯スポーツと競技スポーツの振興
- スポーツ施設の整備充実
- 生涯学習を支える図書館機能高める



生涯学習社会の実現を目指して

生涯学習の推進 127万8千円

市民が生涯を通じて学習活動を行うことができる環境を整え、生涯学習社会の実現を目指します。

・**生涯学習情報の提供**：市内で取り組まれている生涯学習の情報などを掲載した生涯学習ニュース『明日をひらく窓』を年1回発行して各戸配布するほか、同紙の家庭版を年4回発行し、幼稚園児や小・中学生のいる家庭へ配布します。

また、市などが行う生涯学習活動の予定を掲載した『生涯学習ガイド』などを年6回発行するほか、市内で活躍している各種サークルなどを地区別に紹介する『生涯学習へのお誘い』を年1回発行します。

このほかにも、24時間対応の専用電話による子育てアドバイス『生きがいダイヤル』を放送しています。月2種類のテーマを設け、年間24テーマを放送します。

・**生涯学習推進協議会の運営**：学識経

験者や各種団体の代表など16人で構成され、市が行う生涯学習活動に対して意見をいただきます。

ときめき大学の運営 309万2千円

60歳以上の市民を対象に、親ほくを図り、生きがいのある人生観を持つことを目的にさまざまな知識や教養を身に付け、地域社会に役立てていただくため『ときめき大学』を開催します。平成13年度の学生数は516人。



婦人短期大学の運営 103万3千円

女性が生きがいのある豊かな人生を築くための教養を深め、その知識を社会に役立ててもらうため『婦人短期大学』を開催します。

平成13年度の学生数は162人。

家庭教育学級の運営 80万1千円

家庭での教育力向上のため、幼稚園児や小学生をもつ親が自主企画して行われる、子育てに関する学習会などを支援します。3月末日現在、15学級(幼稚園6、小学校9)。

▼**問い合わせ** 社会教育課

(☎) 1129

ふるさと学習推進事業補助金 120万円

ふるさとふれあい農園や地引網体験、ジャンボカボチャコンテストなど、ふるさと学習事業を展開する『ふるさと広場実行委員会』に補助金を交付します。

幼児教育の充実

市立幼稚園の運営 9千37万3千円（うち人件費7千629万8千円）

登別温泉幼稚園や富士幼稚園、若草幼稚園を运营管理し、幼稚園教育を行います。



私立幼稚園就園奨励費補助金 3千446万5千円（うち国1千152万1千円）

私立幼稚園に通園する園児の保護者の保育料負担の軽減を図るため、市民税の所得割課税額が10万2千100円以下の世帯へ補助金を交付します。

・第1子は、5万6千100円から13万6千800円まで。

・第2子は、12万2千円から17万8千円まで。

・第3子以降は、18万7千円から22万2千円まで。

私立幼稚園特別就園奨励費補助金 580万円

私立幼稚園の父母負担の軽減を図るため、私立幼稚園（室蘭市含む）に通園する園児の保護者に対し、入園時に2万円の補助金を交付します。

私立幼稚園教材教具整備事業補助金 208万円

市内の私立幼稚園に対し、教材教具の購入資金の一部を補助し、教育内容の充実を図ります。

私立幼稚園協会教職員研修費補助金 100万円

『登別市私立幼稚園協会』教職員の研修費の一部を補助し、資質の向上を図ります。

私立幼稚園学校給食指導費 51万1千円

市内の公・私立幼稚園入園の5歳児を対象とし、10日間程度学校給食指導を行います。



小・中学校教育の充実

小・中学校情報教育推進事業 3
千522万9千円

小学校教育の推進 9千493万5千円
(うち国50万円)

市内9校を運営管理し、小学校教育を行います。

中学校教育の推進 8千166万8千円
(うち国50万円)

市内6校を運営管理し、中学校教育を行います。

総合的な学習活動研究推進事業
(小・中学校) 700万円

平成14年度から新設された『総合的な学習の時間』(地域や学校、子どもたちの実態に応じ、小・中学校が創意工夫して特色ある教育活動が行える時間)を調査研究し、その推進を図ります。



▲『総合的な学習の時間』に行われたサケの稚魚の放流(富岸小学校)

特色ある学校経営の推進(小・中学校) 43万円

地域と一体となった学校行事やボランティア活動、郷土伝承芸能活動などを通して、魅力ある小・中学校づくりを図ります。

児童の健やかな成長のために(小
学校) 63万円

児童の健やかな成長をはぐくむため、

小動物の飼育や学校菜園を通して、命の尊さや自然に親しむ心を育てます。

外国人英語指導助手の活用(中学校) 688万1千円

生きた英語を指導する外国人英語指導助手(AET)を活用し、英語を使ったコミュニケーション能力の育成などを図ります。

心の教室相談員活用調査研究受託事業(中学校) 206万3千円(うち国169万6千円)

生徒たちの不安やストレスなどを和らげ、心のゆとりを持てるよう、友人関係や進路関係、親子関係、登校拒否などについての相談を相談員が受けま

す。
スクールカウンセラー活用事業
56万2千円

小・中学校におけるいじめや不登校などの問題行動の対応について臨床心理士などの専門家を学校に配置し、児童・生徒などへのカウンセリング体制の機能充実を図ります。

小学校体育連盟助成金 27万円

中学校体育連盟助成金 146万円

登別温泉入浴体験事業（小学校）
75万6千円

小学3年生を対象に、温泉入浴マナーや観光産業の仕組みなどを学ぶ登別温泉入浴体験を行います。

少年の主張大会の開催（中学校）
4万8千円

子どもたちの日常生活の体験や、日ごろ考えていることを広く訴えます。平成14年度は、6月4日(火)に登別中学校を会場に開催します。

小学校合同芸術祭・中学校音楽祭の開催 108万6千円

・登別市内小学校合同芸術祭：市民会館大ホールを会場に、市内9小学校の5年生（登別温泉小学校のみ4～6年生）が、マーチングバンドや器楽、合唱、踊りなど、日ごろの練習の成果を発表します。10月25日(金)開催予定。

・登別市中学校音楽祭：市民会館大ホールを会場に、6中学校の代表クラスや合唱部、吹奏楽部、マンドリンギター部などの生徒が、合唱や合奏など、日ごろの練習の成果を披露します。10月2日(水)開催予定。

PTA連合会助成金 36万円

不登校やいじめなどへの対策（幼稚園、小・中学校） 23万6千円

・教育相談・いじめ相談：専門相談員を2人配置し、電話や来室による相談を受けます（月々金曜日の9時～17時）。

・不登校・いじめ等対策会議：校長会や教頭会の代表、小・中学校教諭、教育委員会（補導センター含む）など33人で構成される同会議を年2回開催します。

・学校訪問や実態調査の実施

・『いじめ学習資料』の配布：小学5年生～中学3年生。

・保護者向け資料『手をつなぐ親子』の発行：幼稚園や小・中学校の家庭を 対象に年3回発行します。

・教職員（幼稚園、小・中学校）を対象とした研修会：年2回開催。

・不登校児童生徒をかかえる父母懇談会：年3回開催予定。

・ふれあいサポート懇談会：指導体制・実態についての情報交流や、自然体験学習・宿泊交流学习の実施についての協議を行う同懇談会を年3回開催する予定です。また、各中学校区の地区別交流会（年2回）を開催します。

・登別市小・中・高等学校合同生徒指導担当者（部長）連絡会議：年2回開催。

・登別市小学校及び中学校生徒指導担当者（部長）連絡会議：小・中学校それぞれ年3回開催。

・登別市中学校・高等学校合同生徒指導担当者（部長）連絡会議：年3回開催。

子ども地域交流プラザの実施 136万9千円

2002年度から学校週5日制が完全実施されたため、地域に根ざした活動を充実発展させ、地域社会・学校・家庭が一体となった運営体制を確立できるように『子ども地域交流プラザ運営委員会』を中心に、『ふれあい農園』を継続して行うほか、さまざまな事業



▲幌別小学校区「子ども地域交流プラザ」運営委員会主催により行われた『どろんこまつり』

を各中学校区で展開します。

・子ども地域交流プラザ運営委員会：校長会や各中学校区・札内来馬地区運営委員、登別市子ども会育成連絡協議会、PTA連合会、社会教育委員、学識経験者など16人で構成される同委員会を運営します。

・各中学校区・札内来馬地区運営委員会（7地区）：地域の特性を生かした事業計画を立案し、地域の連携協力のもと、各種事業を行います。

・学校施設の開放：8月と1月を除く各月の第2土曜日に、学校施設（主に体育館）を開放します。

・『ふるさとYou・遊ガイド』の発行：市内の名所や史跡、公共施設などを紹介した同ガイドを小学1年生全員に配布します。

児童生徒遠距離通学費補助金（小・中学校） 377万円

バス通学する小・中学生の保護者の経済的負担の軽減を図るため、補助金を交付します。

スクールバス運行経費（小・中学校） 480万円

札内町と来馬町に居住し、幌別小学校と幌別中学校に通学する児童生徒や、学校行事などに参加する地域住民を送迎するため、スクールバスを運行します。

特殊教育学級の新設 130万円（うち国28万3千円）

心身に障害をもつ児童生徒の可能性を最大限に伸ばすことを目的に、障害の種類や程度、特性などに応じた適切な教育の場を確保するため、特別に編成した学級を設置します。平成14年度は登別小学校と幌別中学校。

特殊教育就学奨励費（小・中学校） 99万3千円（うち国49万6千円）

特殊学級に就学している児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な費用を援助します。

言語通級指導教室の運営 31万6千円

ことばの障害がある子どもたちに必要な教育を行います。

学習環境の整備充実

幌別小学校の整備 1千900万円

屋内体育館の屋根と外壁の改修を行います。

青葉小学校の整備 540万円

受水槽室の給水装置の改修を行います。

若草小学校の整備 2千650万円

- ・プール整備事業費：150万
- ・若草小学校大規模改造事業実施設計委託料：2千500万円

登別温泉小学校の整備 200万円

校舎内外部の老朽化が著しいため、校舎の内部壁などの補修工事を行い、耐久性の向上と学習環境の改善を図ります。

学校放送設備（小・中）の整備 200万円

小・中学校の放送設備で老朽化しているものを計画的に更新し、学校運営の充実を図ります。平成14年度は、青葉小学校と幌別中学校の更新を行います。

学校給食事業

給食センターボイラー更新事業費 1千500万円

給食賄原材料費に要する経費 2億2千128万円

小・中学校や保育所、幼稚園、教職員などが負担する給食費で、子どもたちの栄養を満たすことができるおいしい給食を提供します。

学校給食センターの運営管理 1億3千269万7千円（うち人件費8千34万円）

学校給食センター運営委員会の運営 19万8千円

教育関係者や学識経験者など10人からなる同運営委員会から、学校給食共同調理場の運営に関する審議や調査・研究・助言などをいただきます。

▼問い合わせ 学校給食センター（☎0852723）

高校教育の充実

登別高等学校定時制課程教育振興会補助金 5万円

私立高等学校教育振興補助金 720万円



生涯学習の推進

【青少年育成】

青少年の非行防止 162万9千円

青少年の非行防止を図るため、補導センターや青少年問題推進協議会を運営し、専任補導員や補導委員による巡回、育成だよりの発行などを行います。

青少年健全育成講演会の開催 5万5千円

全国青少年健全育成強調月間事業の一環として、少年の非行防止をテーマにした講演会の開催を11月上旬に予定しています。

青年リーダーの育成 45万円

18歳から30歳までの青年で、青年団体活動を行っている方、または今後、青年団体活動に参加しようとしている方を対象に、青年団体活動先進地での視察研修などを行い、青年リーダーを

養成します。

青少年会館の運営管理 1千690万円

青少年会館4館の運営管理を行い、学習活動やサークル活動などの推進を図ります。

▼問い合わせ 社会教育課

(☎ 08 1 1 2 9)

青少年会館名	所在地・電話番号
登別市青少年会館	中央町5丁目21-12 (☎ 08 3 1 0 7)
登別東青少年会館	登別本町1丁目18-4 (☎ 08 3 3 9 9)
富岸青少年会館	富岸町2丁目23-15 (☎ 08 2 4 4 9)
鷺別青少年会館	鷺別町4丁目36-38 (☎ 08 6 5 1 5)

成人祭の開催 128万5千円

登別市成人祭実行委員会主催による成人祭を開催します。平成14年度は、平成15年1月12日開催予定。



ボーイスカウト登別第1団運営事業費補助金 4万5千円

室蘭・登別少年を守る会補助金 3万円

子ども会活動振興助成金 175万5千円

登別市子ども会育成連絡協議会が開催する『こいのぼりマラソン大会』や『かるた大会』などの活動を支援します。



生涯学習諸条件の整備

婦人研修の家の維持・補修 60万7千円

婦人研修の家名	所在地・電話番号
カルルス婦人研修の家	カルルス町27-1 (☎0122-2172)
常盤婦人研修の家	常盤町2丁目34-1 (☎0122-8039)
柏木婦人研修の家	柏木町4丁目24-8 (☎0122-1079)
桜木婦人研修の家	桜木町2丁目15-17 (☎0122-1244)
新川婦人研修の家	新川町4丁目15-11 (☎0122-8037)
栄婦人研修の家	栄町2丁目7-5 (☎0122-9918)
美園婦人研修の家	美園町4丁目8-9 (☎0122-6975)
若草婦人研修の家	若草町2丁目2-7 (☎0122-9919)

公民館の運営管理に要する経費 1千337万円

公民館名	所在地・電話番号
登別温泉公民館	登別温泉町17 (☎0122-3365)
登別公民館	登別東町2丁目21-1 (☎0122-3265)
鷺別公民館	鷺別町3丁目3-4 (☎0122-8823)

公民館事業の推進 160万3千円

地域文化を高めるための講座や講演会、講習会などを行う『公民館講座』を開催するほか、団体やサークルなどが自主的に行う学習会『マイプラン講座』を支援します。

▼問い合わせ 社会教育課

(☎0122-1129)



▶小学生を対象に行われる公民館講座 『アシカ博士教室』(登別マリンパークニクス)



個性豊かなふるさとの文化をつくる

市民会館の運営管理 3千404万2千円



文化振興助成金 135万円

『市民文化祭』や『文化大集会』などを開催している『登別市文化協会』の活動を支援します。平成13年度末の加盟団体数・会員数は、37団体・約2千500人。

児童・生徒文化振興助成金 60万円

市内の小・中学校、高校に在籍する児童生徒が、全道・全国大会に出場する際、保護者の負担を軽減するため経費の一部を助成します。

知里幸恵生誕100年記念事業 225万円

『アイヌ神謡集』を後世に残した知里幸恵さんの生誕100年を記念して、ゆかりの地への案内板やマップを作製します。また、アルバム『銀のしずく』でデビューした木村弓さんのコンサート費用の一部を助成します。

北海道ウタリ協会登別支部補助金 5万円

アイヌ民族文化祭補助金 3万円

社団法人北海道ウタリ協会が開催する『アイヌ民族文化祭』を支援するため補助金を交付します。平成14年度の開催地は伊達市を予定。

アイヌ民族文化の普及 53万円
(うち道39万7千円)

生活館活動推進事業費・北海道ウタリ協会登別支部が開催する『刺しゅう教室』を支援します。

三市合同文化事業負担金 100万円

登別市・室蘭市・伊達市の3市合同で『北海道舞台塾in西胆振』を開催します。平成14年度は、演劇ワークショップなどを行う予定です。

財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の運営 2千464万3千円

文化・スポーツ振興財団を運営し、同財団が行う事業を補助します。

◆主な内訳

- ・財団法人登別市文化・スポーツ振興財団事業補助金…916万2千円
- ・財団法人登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金…1千548万1千円

表別紙

▼問い合わせ 文化・スポーツ振興財団 (☎ 1116)

文化振興事業…事業費 12,634,000 円 (うち市補助金7,287,000円)

事業名		期 日	時 間	対 象	場 所	募 集 定 員	受講・参加料
カメラ（写真）撮影教室		5月12日(日)・19日(日)	10:00～12:00	一般	郷土資料館	20人	200円
ビデオ撮影教室		5月26日(日)	9:00～16:00	一般	市民会館	20人	200円
初心者英会話教室	登別地区	6月3日(月)～6月17日(月) の毎週月・木曜日	18:30～20:30	一般	婦人センター	各地区20人	500円
	幌別地区	10月7日(月)～24日(月) の毎週月・木曜日			市民会館		
	鷺別地区	2月3日(月)～2月17日(月) の毎週月・木曜日			鷺別公民館		
民俗工芸教室(和紙づくり)		8月2日(金)	10:00～12:00	親子	郷土資料館	15組	100円
ガラス工芸教室		8月28日(水)～30日(金)	18:30～20:30	一般	市民会館	20人	3,500円
和食料理教室		9月20日(金)	9:30～13:00	一般	市民会館	30人	500円
自然色彩絵画教室		9月25日(水)～27日(金)	18:30～20:30	一般	市民会館	20人	4,000円
親子料理教室		10月27日(日)	9:00～13:00	親子	鷺別公民館	20組	1,000円
ファミリー 紙ねんど教室	登別地区	1月8日(水)	10:00～12:00	親子	婦人センター	各地区25組	300円
	幌別地区	1月9日(木)			市民会館		
	鷺別地区	1月10日(金)			鷺別公民館		
富良野塾演劇セミナー		8月上旬	未定	高校生以上	富良野市	未定	未定
道新ジュニアクラシック (札幌コンサート)		6月27日(水)	13:00～14:30	西小学校ほか	市民会館		
市民文化祭		9月～11月		一般	各地区		
研ナオココンサート		10月11日(金)	18:30～	一般	市民会館		全席指定 5,000円
親子文化祭		11月10日(日)	10:00～14:30	親子	市民会館		工作のみ 200円
文化講演会		未定	未定	一般	市民会館		未定
小中学生書初展		2月1日(土)・2日(日)	未定	小・中学生	市民会館		500円

※都合により、日程などを変更することがありますのでご了承ください。



スポーツ振興事業…事業費 2,209,000 円 (うち市補助金1,875,000円)

事業名	期 日	時 間	対 象	場 所	募 集 定 員	受講・参加料
初心者テニス教室	5月7日(火)～6月7日(金) の毎週火・金曜日	10:00～12:00	一般	岡志別の森 運動公園	50人	950円
少年水泳教室	5月14日(火)～5月29日(水) の土・日・月曜日を除く毎日	16:00～17:00	小学1～3年生	市民プール	50人	950円
婦人水泳教室	6月4日(火)～6月25日(火) の毎週火・木・土曜日	13:30～15:30	一般	市民プール	50人	950円
パークゴルフ教室	Aコース	6月5日(水)・12日(水)	一般	岡志別の森 運動公園	各教室24人	600円
	Bコース	6月14日(金)・21日(金)				
	Cコース	7月2日(火)・9日(火)				
安全護身術教室	7月26日(日)	18:30～20:30	一般	総合体育館	50人	350円
スキndaイビング教室	12月15日(日)	13:00～15:00	一般	市民プール	20人	950円
初心者スケート教室	1月25日(土)・26日(日)	9:00～11:30	小学生以上	青葉 スケートリンク	50人	200円
初心者スキー教室	2月1日(土)・8日(土)・15日(土)	10:00～14:30	一般	カルルス温泉 サンライバスキー場	20人	950円
初心者スノーボード教室	2月1日(土)・8日(土)・15日(土)	10:00～14:30	一般	カルルス温泉 サンライバスキー場	20人	950円
市民パークゴルフ大会(春季)	6月2日(日)	7:00～	一般	岡志別の森 運動公園	120人	600円
市民ゲートボール大会	7月23日(火)	8:30～	一般	市営陸上競技場	110人 (参加予定数)	無料
市民グラウンドゴルフ大会	8月20日(火)	9:00～	一般	市営陸上競技場	100人 (参加予定数)	無料
市民スポーツフェスティバル	9月1日(日)	8:30～	全市民	岡志別の森 運動公園	350人 (参加予定数)	無料
市民パークゴルフ大会(秋季)	9月1日(日)	8:30～	一般	岡志別の森 運動公園	120人	500円
市民ソフトボール大会	9月1日(日)	8:30～	一般	岡志別の森 運動公園	120人 (参加予定数)	1チーム 2,000円
市民ミニバレー大会	12月1日(日)	8:30～	一般	総合体育館	200人 (参加予定数)	無料
軽スポーツ指導者派遣事業	随時	随時	小学生以上	随 時	1回10人以上	無料
陸上競技講習会	6月29日(土)	14:00～16:30	一般	市営陸上競技場	50人	無料

※都合により、日程などを変更することがありますのでご了承ください。



▲親子文化祭



▲市民スポーツフェスティバル

文化財の保護 33万2千円

ふるさと登別の歴史や文化を後世に伝え、郷土に対する理解を深めるため、市民の貴重な財産である文化財を保存します。

・登別市文化財審議会の運営：学識経験者ら6人で構成される同審議会を開催し、文化財の保存や活用について、専門的な立場から調査・審議します。

郷土資料館・文化伝承館の運営
859万6千円（うち人件費585万3千円）

郷土資料館の収蔵品などを管理・展示するほか、さまざまな体験学習などを行います。



▶郷土資料館体験学習『ひな人形づくり体験』





生涯スポーツと競技スポーツの振興

円 スポーツ合宿支援事業 15万7千

UFJ銀行女子陸上競技部の合宿を誘致・支援し、同部を講師に招いたスポーツ教室などを開催します。

市民ラジオ体操会の開催 6万円

午前6時30分からNHKラジオ放送により、ラジオ体操第1・第2を行います（7月末に開催予定）。

胆振管内スポーツフェスタ参加経費 37万1千円

胆振管内スポーツフェスタ（開催地

開催月日	行 事 名	内 容
4月13日(土)	親子こいのぼりづくり	ミニこいのぼりの作成
4月27日(土)	資料館の日	展示品の解説・体験学習
5月11日(土)	資料館の日 「昔の暮らし」	昔と今の生活の違い
5月25日(土)	わんぱくサムライ体験	流鏝馬・チャンバラ・茶道体験など
6月8日(土)	資料館の日	展示品の解説・体験学習
6月22日(土)	親子そば打ち体験	親子によるそば打ちと試食
7月13日(土)	笹舟とソーメン流し体験	池で笹舟を楽しむ。ソーメンの試食
7月30日(火)	夏休み工作教室	本立てとパズルの作成
7月31日(水)	夏休み工作教室	折り染め工作
8月24日(土)	絞り染め体験	白布を絞り染めしてのバンダナづくり
9月14日(土)	資料館の日 「片倉家の移住」	登別市の開墾時代の様子
9月28日(土)	フクロウづくり体験	トウモロコシの皮を使ってのフクロウづくり
10月12日(土)	資料館の日 「幌別鉱山」	幌別鉱山の栄えたころの様子を学ぶ
10月26日(土)	動くおもちゃづくり体験	やじろべえとメリーゴーランドの作成
11月9日(土)	はた織り体験	小さなはた織り機を使ってのコースターづくり
12月7日(土)	しめ飾りづくり体験	すげを使って、しめ飾りを作成
1月9日(土)	冬休み工作教室	本立て・わら芸
1月10日(日)	冬休み工作教室	凧・わら芸
1月25日(土)	郷土資料館の日 (知里家の人々)	知里真志保・幸恵の足跡をたどる
2月8日(土)	資料館の日	展示品の解説・体験学習
2月22日(土)	親子ひな人形づくり体験	竹と和紙を材料にしてのひな人形づくり
3月8日(土)	親子和菓子づくり体験	らくがんづくり

※都合により、内容などを変更する場合があります。

は夏季・伊達市、冬季・登別市)に市民による選手団を派遣します。
また、選手団の参加経費の一部を助成します。

登別市体育協会助成金 126万円

登別市スポーツ少年団育成助成金 50万円

三市スポーツ大会の開催 49万円

登別市・室蘭市・伊達市の三市の子どもたちがスポーツを通し、交流を深めます。夏季と冬季の年2回開催し、夏季は室蘭市入江陸上競技場を会場に陸上競技を、冬季は伊達市体育館を会場にドッジボールを行います。

児童生徒スポーツ振興助成金 306万円

市内のスポーツ団体や市民などが、全国大会・全道大会に参加する際、参加者の負担を軽減するため、経費の一部を助成します。

スポーツ施設の整備充実

学校開放事業 416万7千円

市内に居住または通勤している方を
含む10人以上のグループに、学校の体
育施設を開放し、スポーツ活動の場を
提供します。

・**屋内体育館の開放**：平成14年5月中
旬から平成15年2月末まで、登別温
泉中学校や登別中学校、登別小学校、
幌別東小学校、幌別小学校、幌別西
小学校、青葉小学校、富岸小学校、
若草小学校、鷺別小学校の体育館を
開放します。

・**学校プールの開放**：学校の夏休み期
間中、幌別東小学校や若草小学校、
鷺別小学校のプールを開放します

▼問い合わせ 社会教育課

(☎ 1129)

総合体育館の運営管理 1千763万
7千円

陸上競技場の運営管理 502万9千
円



岡志別の森運動公園の運営管理
1千801万円

市民プールの運営管理 1千751万
5千円

※新市民プール建設については、平成
16年度のオープンを予定し、基本設
計を行っています。



市営プールの運営管理 333万円

▼問い合わせ 文化・スポーツ振興財
団 (☎ 1116)



生涯学習を支える図書館 機能を高める

市立図書館の運営管理 6千127万
9千円（うち人件費4千658万6千円）

図書資料の整備をはじめ、『文化講演会』や『小中学生読書感想文コンクール』、『幼稚園児読書感想画募集』、『移動図書館こぐま号の運行』などを行います。



▶移動図書館こぐま号

図書などの購入 885万円

新着図書5千冊や雑誌50種類、新聞6紙を購入します。

新図書館建設基金積立金 1千万円

新図書館建設に向けて、毎年一定額を新図書館建設基金として積み立てします。

第6章

担いあうまちづくり

市民参画・地域活動・
地域交流・国際交流



- 多彩な地域活動を支援
- 交流ネットワークの形成

多彩な地域活動を支援

いきいき推進事業補助金 100万円

個性豊かなまちづくり活動やふれあい豊かな交流推進事業など、市民団体が自主的・主体的に取り組むまちづくり活動を支援します。

補助金は、対象事業費の2分の1までで30万円を限度とします。

▼問い合わせ 企画課

(☎) 11222

商業活性化イベント事業補助金 80万円

商店会または商店会が中心となつて組織された団体が、商業の振興や地域経済の活性化のため、地域住民と共同で行うイベントに対し、補助金を交付します。幌別地区は『のぼりべつ豊水まつり』、鷺別地区は『鷺別手づくり夏祭り』、若草・新生地区は『グリーンピア・サマーフェスティバル』、登別地区は『のぼりべつ探検物語』に補助金を交付します。



▲のぼりべつ豊水まつり



▶鷺別手づくり夏祭り

登別農業まつり運営費補助金 20万円

平成14年度は千歳町の市民プール横広場を会場に、9月1日(日)の開催を予定しています。



登別漁港まつり運営費補助金 40万円

平成14年度は、9月14日(土)・15日(日)開催を予定しています。



登別市連合町内会助成金 250万円

市内の町内会で組織される各地区の連合町内会の活動を支援します。

市内の連合町内会は、登別温泉地区、登別地区、鉄南地区、札内・来馬地区、中央地区、幌別西地区、青葉地区、富岸地区、新生地区、鷺別地区、美園・若草地区の11連合町内会。

▼問い合わせ 市民課

(☎) 1855

町内会運営助成金 3千207万円

地域の発展を目的に活動する町内会の運営を支援します。助成金は、団体割や世帯割、会館割、街路灯割で交付され、地域の美化清掃をはじめ、敬老会や祭典、新年会、街路灯や会館の維持管理などに利用されています。

市内の町内会数は、99町内会。
▼問い合わせ 市民課

(☎) 1855

登別市民憲章推進協議会助成金 45万円

団体を対象に花の苗のあっせんなどを行う『花いっぱい運動』の推進や、

各種団体の実践発表や講演会を行う『まちづくり市民のつどい』の開催、『市民憲章だより』を発行している『登別市民憲章推進協議会』の活動を支援するため助成金を交付します。

交流ネットワークの形成

東京登別げんきかいの支援 10万7千円

首都圏在住の登別市出身者やゆかりのある方で構成される『東京登別げんきかい』の活動を支援します。

平成13年10月末現在の会員数は530人。

札幌のぼりべつ会の支援 7万7千円

札幌圏在住の登別市出身者やゆかりのある方たちで構成される『札幌のぼりべつ会』の活動を支援します。

平成13年10月末現在の会員数は114人。



登別市ふるさと大使の委嘱 22万
1千円

登別市にゆかりのある方を『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）に委嘱し、さまざまな機会に登別市を宣伝してもらおうとともに、まちづくり情報などを提供してもらいます。

登別・白石姉妹都市交流推進協議会助成金 30万円

姉妹都市である宮城県白石市との産業や経済、文化、スポーツ、福祉などを通して友好・親善を深めるため、同協議会へ助成金を交付します。

姉妹都市の小・中学校との交流 59万3千円

登別市と白石市の小・中学生が、学校間交流を行い、互いのまちの歴史を学び、交流を深めます。

また、交流を推進する『姉妹都市小中学校交流実行委員会』へ補助金を交付し、活動を支援します。

姉妹都市スポーツ交流事業助成金 156万円

姉妹都市である白石市と少年軟式野球大会や水泳大会を通して交流を深めるため、『登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流団』と『姉妹都市国際親善水泳大会参加交流団』へ助成金を交付します。

中学生海外派遣事業の実施 379万
9千円

登別市の次代を担う青少年が、諸外国の生活や異なる文化に接することにより、国際理解を深め、国際社会に対応できる豊かな人間性を身につけることを目的に、市内の中学校2年生をデンマークなどに派遣し（10日間程度）、ホームステイなどを体験します。平成4年度に始まった同事業は本年度で11回目を迎え、これまでに69人の中学生を派遣しました。



国際交流推進事業 174万5千円

登別市の国際交流を推進するため、講演会やデンマークへの親善訪問の支援などを行います。

・国際交流の推進に関する事業…市内の国際交流関係団体などと連携して、『国際理解セミナー』や『外国人留学生との交流』などを行い、国際交流の推進を図ります。

・デンマーク研修生との交流…6月から約2カ月、登別デンマーク協会が受け入れるデンマークからの研修生と市民との交流する機会をつくり、国際交流の推進を図ります。

・デンマークへの親善訪問…デンマークにある登別市民との友好をすすめる団体『リングェ／ウイスリング登別友好協会』が、一昨年登別市を親善訪問したことに對し、9月に答礼の親善訪問を行う『登別デンマーク協会』の活動を支援します。



自治体職員協力交流事業 398万2千円

海外の地方自治体などの職員を『協力交流研修員』として受け入れ、日本の自治体のノウハウや技術を習得してもらうとともに、市内で開催される国際交流事業に同研修員を参加させ、市民との交流を通して、地域の国際化を図ります。平成14年度は6月から12月下旬までを予定。

▼問い合わせ 総務課国際交流室
(☎ 011-30)



平成 14 年度市の仕事
まちづくりカタログ